

| | | | | | |
|------|---|---------------------------|--|--|---|
| 兵庫県 | 普段体験できないようなことをさせてもらえた。 | 交通の便がよくない。 | しつけの仕方や、と畜場での検査は普段大学での実習ではできないことなので貴重な体験ができたと思う。 | 今までは興味が全くない分野だったが、実習を通して、公務員になるのもありだなと思うようになった。というのも理解できるとおもしろいと思えるということと、一人一人が責任を持って仕事している様子が伝わってきたからである。 | 以前は自分の興味のある分野しか勉強しなかったが、公衆衛生分野も勉強しなければいけないと思ったし、勉強しようと思った。 |
| 兵庫県 | 親切に一から全て丁寧におしえていただいた。普段知らないところもおしえていただいた。 | 特になし強いて言うなら交通の不便。 | 愛護センターの業務と食肉衛生検査センターの業務をしっかりと教えていただいた。詳しく丁寧だったのでとても良かった。 | ざっくりと理解していた公務員獣医師の業務内容を詳しく知ることができ、どうしたいかの具体的な案ができた。 | 公衆衛生獣医師は人々の生活の基盤を支えているので汚い作業もしなければいけないが、それが自分の自信や誇りになれるなら就職を考えようと思う。 |
| 佐世保市 | スケジュールが細かく組まれていて、よりたくさん種類の実習を経験でき、それぞれの実習の担当者の方から親切に教えていただけました。 | | 実習の種類が多く組まれていたため、実際の業務の内容をたくさん見ることができ、また体験もさせて頂くことが出来て将来に向けてとても勉強になった。また、実習ごとに担当者の方が変わっていたため、多くの人から業務等についてのお話を聞く事が出来てよかった。 | 実際に業務を見て体験することで、今までは公衆衛生業務について想像でしかなかったものが、より具体的にわかるようになり、それぞれの業務のやりがい等も知る事が出来たため、公衆衛生分野の獣医師として働いてみたいという意欲が高まった。 | 公務員の獣医師として、まず、法律に則って業務を行う事が大前提だという事が改めてわかり、また、検査業務では専門の知識を頭に入れておかないと、いざという時に迅速に対処することが出来ないと思えたので、学生のうちからもっと勉強をするべきだと強く思うようになった。 |
| 兵庫県 | 初めていく施設の見学ができたこと。 | 同じ作業を何度もやること。 | 仕事の合間に実習させて頂いているのは分かっているが、なにをすればいいのか分からない時間があつたのは残念だった。食検では初めてのことばかりで興味深かった。公務員の獣医師の仕事の雰囲気を実際に感じられたのはよかった。 | 食肉衛生検査センターの仕事は想像よりやりがいがある仕事だと思った。 | |
| JASV | 実際の現場をそのまま見せてもらえたこと。 | 豚の実習だと思っていたため、牛についての復讐をあま | 牛の現場、豚の現場、両方見ることができて、比較することができて面白かった。また、獣医師の責任 | 開業の獣医師というのは、自由で面白いと感じたが、臨床だけでは | 動物そのものを見るだけでなく、農家さんの生活そのものを見れるよう |

| | | | | | |
|-----|--|---|--|---|--|
| | | りしないで行ってしまった。事前におおまかな内容の説明がほしい。 | の大きさや、農家さんとの関わりなども感じ、しっかり勉強していかなくはならないと思った。 | く事務の仕事も多く、大変だと感じた。しかし、生産動物の世界の奥の深さ、多様性を改めて感じたので、生産動物に関わる仕事がしたいとは思った。 | になりたい。また、獣医とは関係なく、あいさつや会話が大事だということを変更して学んだ。しっかりできるようにしたい。 |
| 長崎県 | 解体検査や BSE 検査など、普段大学でできないような検査をやらせていただいた。現場で働く方々の丸 1 日を通して見ることで実際に自分がその職に就いた時のイメージが固まりやすく、参加してよかった。 | 特にありません。強いて言うならずっと同じ現場での実習だったことかもしれません。 | 同じ現場での実習でしたが、3 日間という短い期間の中で 1 つの現場に絞って実習をしていたので、その現場で働く感覚が実感できた。他の現場の見学にも連れていっていただいたのでたくさんの立場の人々からお話を聞くことができ、満足している。 | もともと公務員志望で就職先を模索する一環で応募した。実習を終えて、その県の特徴、就職してから数年後までの流れなどを経験者から聞くことができた。良いことも悪いことも含め、実際に働く上でのリアルな話を聞いたことが就職先としての関心が増したことに繋がった。 | VPcamp を通して、私はより働き方について考えるようになった。公務員獣医師には臨床医から移られた方、育児をしながら仕事をされてる方などさまざまな立場で働かれている。自分の生活スタイルが変わっても続けていけるひとつの職場として考えるようになった。 |
| 京都府 | 数多くの機関を見学させて頂くことができ、現場の雰囲気に触れ、現場の方たちからさまざまなお話を聞き、勉強になった。貴重な体験ができ、良かった。 | もう少し自分達で手を動かすことが多いのですが、見学や講義も多かった。 | 大学で勉強している内容の実際の現場での実践を見学でき、良かった。今後の勉強への意欲にもつながった。 | 公務員獣医師の業務について、具体的に何をされているのかを知り、と畜場、食肉衛生検査所では特に、解剖学、病理学、微生物学をはじめ幅広い専門知識をフルに活用されていると感じ、興味深い職場だと感じた | 公衆衛生といってもその分野は幅広く、幅広い専門知識が求められると実感した。また、他の職以上に人と向き合う職場であり、専門知識だけに留まらず、人とのコミュニケーションを円滑にするためにも一般教養など広い知識をもつ重要性を知った。 |
| 高知市 | 普段できない体験ができた。 | 旅費と宿泊費が負担になった。 | 公衆衛生業務が体験でき、面白かったが、実習内容を選択式にして機関を少し狭めたりしてもいいかと思いました。内容は、普段校内では学べないことを学ぶことができ、よかった。 | 仕事内容をあまり知らなかったなので、知れてよかった。 | 幅広い知識を持った獣医学生に変化した。 |

| | | | | | |
|-----|---|---------------------------------------|---|--|--|
| 富山県 | 県における公務員獣医師が勤務するすべての関連機関に行くことができ、また、業務内容を知ることができた。その他、各機関において実際の業務の一部を経験することができた。 | なし。 | 県の公務員獣医師となった際の職場の雰囲気や実際の職務を理解することができ、非常に有意義であった。これを踏まえ、卒業後の進路をより具体化することができた。 | 具体的な業務内容を知ることによって、就職先をより明確にイメージできるため、今後の勉強における重点分野が明確になった。 | 学校での講義内容がどのように役立つのかをより具体的にとらえることができる。 |
| 兵庫県 | 担当者の先生が丁寧に指導してくださったこと。 | 特になし | 普段できない貴重な体験ができたのでよかった。特に食肉衛生検査センターの実習では、多くのプログラムを組んでくださっていてとても充実した2日間になった。 | 食肉衛生検査所は、家畜の死と向き合う辛い仕事だと思っていたが、真剣に働く現場の獣医師さんを見て、とても責任感が強く素敵な仕事だと思った。 | 視野の幅が広がった。 |
| 兵庫県 | 熱意のある獣医師が多くいる機関で様々なことを学ぶことができた点。 | 交通費、宿泊費が出ないため、負担が大きい。 | 多くの出費を要したが、それに見合った多くの知見を得ることができた。 | 家畜保健衛生所への関心が強かったが、動物愛護センターでの業務にも興味を持つようになった。 | 臨床や家畜防疫に関する知る見しか持っていなかったが、公衆衛生学的な知見も有する学生に変化できたように感じる。 |
| 京都府 | 多くの施設を見学することができ、多くの人と交流ができた。 | 一つ一つの施設で講義が多く、実際に手を動かすことが少なかったように感じた。 | 公衆衛生獣医師の仕事は多くの施設で見学させてもらうことができ、多くの人から実際に働いている人の話を聞くことができた。公務員獣医師としてどのように働いているのかなど、自分が実際に働くときにどのようなのか、少し考える良いきっかけになった。 | 元々、畜産関係や野生動物、動物園動物に興味があり、公務員獣医師の中でも公衆衛生分野はあまり詳しく知らなかった。公務員は興味があったものの、公衆衛生分野を知らずに受けるのはどうかと、今回の実習に参加した。実際に実習で知ったこと・学んだことから公衆衛生分野の重要性や研究などにも携われるという面白さも感じる事ができ、公務員を受けるにあたって前向きになれた。 | 畜産の現場から食品になるまで、人にかかわる獣医師としての重要性を認識するようになった。また、動物愛護の難しさ、大切さを知ることができた。 |

| | | | | | |
|-----|--|--------------------------|---|--|---|
| 長野県 | 3つの違う職場に行くことができた。 | 食肉衛生検査所は座学が多かった。 | 実際の現場を知ることができてよかった。仕事の内容とその周りの地域に還元されているかがよくわかった。 | 具体的な仕事内容がよくわかり、やり甲斐のある仕事だと思った。 | 獣医は動物のためだけの仕事ではないということがよくわかった。 |
| 福岡市 | 公務員獣医師の仕事を実際に見ることで仕事内容を今までより具体的にイメージできるようになった。 | | 公務員獣医師に対する理解が深まり、将来の選択肢が増えた。 | 実際に職場に行き、そこで働いている獣医師の方と話していると将来の選択肢の1つとして考えようと思った。 | 幅広く様々な分野に興味を持って、実際に現場に行くことの重要性を理解した。 |
| 群馬県 | 食肉処理施設や動物愛護センターなど、普段見れない場所が見れたこと。 | | 群馬県は牛を対米輸出しているため、その話が聞けたのは、とても勉強になった。 | 元々、公衆衛生分野に興味があったが、さらに興味を持つようになった。 | 病理や解剖など、仕事に直結する分野は、さらに一生懸命勉強しようと思った。 |
| 群馬県 | 現場を沢山見せてもらったこと | | 通常の勤務の時間の中でプログラムを組んでいたいでいるので無理は言えないものの、もう少し手を動かす実習ができればよかった。 | 今回実習に参加してみて、衛生部より農政部の方が向いていることを再確認できてよかった。 | |
| 埼玉県 | 職域の広さや獣医師の職務ややりがいが良く分かった。将来の職業選択の助けになる様な貴重な経験ができた。 | 特になし。 | 各部署で一生懸命、実習生に多くを学んでもらおうとしていることがよく分かった。獣医師だけでなく、薬剤師や臨床検査技師の方で衛生の仕事をしている方とお話する貴重な機会を得ることができて非常に有意義であった。 | 公務員獣医師においては、特化した知識でなく幅広い知識を使う点が興味深く、職業としても非常にやりがいがあると感じた。 | 将来の獣医師像を心に留めといる獣医師。 |
| 埼玉県 | 普通の見学では入れないような場所にまで入れていただいて、貴重な体験ができました。 | 保健所も訪問できればさらに満足できると思います。 | 具体的な検査業務をいくつも体験させていただき、学校で学んだ内容の復習にもなりました。本当に良い経験になったと感じています。 | 今回参加させていただいた自治体に観光以外で行くのは初めてでしたが、皆さんに良くしていただき、また県内の色々な地域を訪れたことで就職先として興味がわきました。 | 実習前よりも具体的に公衆衛生獣医師の業務内容、立場を理解し、自分の将来の選択肢として真剣に考えることができるようになりました。 |

| | | | | | |
|---------|--|------------------------------------|---|--|--|
| 埼玉県 | 5日間という短い期間で、公衆衛生獣医師がどのように携わっているのかを知ることができとても良かった。具体的に手を動かす実習もさせて頂き、現場での働き方も見ることができとても良かった。 | 期間が短かったので、保健所など全てを見学できなかったのが残念だった。 | 食肉検査センターや検査所では、検査が中心でありその過程での手技の難しさを感じた。細菌検査では、無菌操作が不十分であったり器具の取り扱いを間違えると、自分が検査したかった菌を培養できなくなってしまう。こういったことにより検査結果をわかりにくくしてしまう危険性もある。また、屠畜場・食鳥検査では、いかに効率よく病変の有無を見極めなければならぬかを知った。自分が遅くなると流れがとまってしまうため、勉強が必要だと感じた。 | 今回が初めての公衆衛生実習だったため、具体的にどのような仕事をするのか、大学で学んでいることは生かせるのかがわからなかったが、実際に実習をしてみてもほぼ自分が学んでいることそのままでありとても興味がわいた。また、関東圏内での就職を考えられているため都心にも近い埼玉県はとても魅力的だと感じている。 | 自分は小動物臨床をもともと目指しており、それ以外をまったく視野に入れていなかったため今回の実習を参加し他の分野での獣医職についてとても視野が広がった。 |
| 長野県 | 公衆衛生獣医師の仕事内容の概要がわかりました。 | 講義に工夫がなくて眠気が出てきたことがあります。 | 公衆衛生獣医師の仕事（食肉衛生検査所、動物愛護センター、保健所）の概要がある程度わかったので自分の将来の方向性がある程度できた。 | 獣医師らしい仕事をしているという点で食肉衛生検査所か動物愛護センターで働きたいと思いました。 | より公務員志望の獣医学生になりました。 |
| 八王子市保健所 | 大学の授業等でも保健所の見学はなかったので、普段知ることのできない保健所の業務を体験できてよかった。動物衛生だけでなく、医事薬事などの獣医師の配属されていない部署も経験することができ、就職の参考になった。 | 自分で実際に手を動かす作業がもう少しあっても良かったかもしれない。 | 職員の方々の説明が丁寧でとても親切に対応していただき、充実した実習をすることができた。小規模の自治体での業務がどのようなものなのか実習前は具体的なイメージが湧かなかったが、実習を通じて公衆衛生行政の業務内容を知ると同時に、そこで働く方々の仕事に対する姿勢、心遣いを感じることができ、参加してよかった。 | 保健所への就職先としての関心は高まったが、八王子市は29年度の獣医師の募集がない可能性が高いため。 | どのような仕事をしたいかだけでなく、どのように取り組みたいかを考えるようになった。 |
| 姫路市 | 半日毎のスケジュールだったので中弛みすること無く濃い内容の実習となった | 特になし | 実際に現場に出向かなければ聞けないお話や、知ることの出来ない現場の雰囲気や仕事内容を三日間に集中して学べたので非常に有意義でした | 元々公務員の週休2日、定時上がりという条件はとても魅力に感じていました。その仕事内容を全くイメージできなかったのが今回の実習を通して具体的に知ることができ、上記の条件で働く職場としては申し | 臨床の現場だけでなく、公衆衛生の現場の知識も少なからず学んだ獣医学生になれたように思います。将来の進路として具体的に現場を見た事があるのは強みだと思います。 |

| | | | | | |
|-----------------|--|--|---|---|--|
| | | | | 分ない職場であると思えました。 | |
| 神奈川県 | 実際の業務を間近で見ることが出来た。実習先の方々が、皆さん、とても親身になって接してくださった。 | 特に無いです | 作業をしている職員の方のすぐ横で説明をしていただきつつ作業を見ることが出来、気になったところを直ぐに質問できて有難かった。置かれている全ての課の業務を実習中に見学すること、それぞれの課の関わり方や検査所全体の業務の流れを理解することが出来た。 | 今まで、遠目でしか見たことの無かった業務を見て、自分が仕事をするイメージが掴めた。 | 獣医師として公衆衛生に関わることを、授業で聞いた話としてではなく、自分の将来の姿の一部として実感している獣医学学生 |
| OIE アジア太平洋地域事務所 | OIE についてよりよく理解することができた。国際会議に参加してその雰囲気や扱う内容を知ることができた。OIE アジア太平洋地域事務所働く人の貴重なお話を聞かせていただいた。日本だけでなく世界各国の専門家・科学者と話をする機会ができた。英語のリスニング・スピーキングの練習になった | | | 公衆衛生について今までほとんど興味を持たずにいたため、少しでもしるいい機会になるとして参加しました。公衆衛生の向上のために大きな力を持つ OIE の仕事の重要性を知ってこの分野の重要性が前よりよくわかったと思う | 世界の獣医疾病の問題の概要を知ったため、より国際的な視野を広げられた。英語の重要性を身をもって痛感し、今後も勉強していきたいと思った。 |
| OIE アジア太平洋地域事務所 | OIE という国際機関が実際に何をしているのか詳細に知ることができた上に、実際にアジア太平洋地域の国際会議に参加することができ、大変貴重な経験になった。また、共にインターンに参加した学生が自分と似た志を持っていたことも良かった。自分のモチベーションの向上につながっ | OIE の業務について講義で詳しく知ることができたのは大変良かったが三日間続けて終日講義のみだったので、たまにはグループワークなど違う方面から学んでみたかった。 | 全体を通して非常に満足いくインターンだった。OIE のホームページを見ただけでは、業務の幅が広すぎているまいち OIE が何をしているのか具体的に掴めなかったが、OIE で実際に勤務している方々からそれぞれ具体的に何をしているのかを教わることで、OIE がどのような国際機関で現在何を手がけているかの全体像をつかめるようになったと思う。OIE のイメージを講義で掴んだ上で実際に国際会議に参加し、様々なバックグラウンド | 現在、環境省が第一志望であるが、今回の経験を通じてますます行政に参画することへの興味が増した。 | 今回の OIE のインターンを通じてますます公衆衛生の重要性を認識した。また、国際会議の場で様々な立場の人々の議論を聞き、物事を多面的に捉えることの重要性を再認識した。 |

| | | | | | |
|-----------------------------|---|-------|--|--|-------------------------------------|
| | たように感じる。 | | の人とお話をする事ができたのは非常に良い経験になったと感じる。 | | |
| OIE 獣疫事務局 アジア太平洋地域事務局 | 指導者と会話する機会が豊富であり、様々なお話が聞けたこと。指導者が親しみやすく、和やかで楽しい雰囲気であったこと。 | 特に無し。 | 講義の内容は大変わかりやすく、有益であった。参加した会議も、とても良い刺激になった。 | 獣医が携わる公衆衛生、動物衛生のフィールドが国際的な舞台にまで広がっていることが実感できたため。 | より国際的な視点をもって獣医学に取り組んでいこうと思えるようになった。 |

(H28年度 夏)

| 参加機関 | 良かった点 | 悪かった点 | 実習についての感想 | 実習に参加した理由 | 実習後に変化したこと |
|-------|--|---|--|--|--|
| 旭川市 | 職員の皆様が温かく迎えてくださったこと。 | 悪かった点ではありませんが、どうしても時間が余ってしまった時に職員の方々が困っていたようで、申し訳なく感じた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学における公務員獣医師の講義や就職説明会では知り得ない、現場の職員の方々のお話を伺えたこと。 ・実際の現場に同行し見学ができたこと。 ・実際の業務を体験することができたこと。これらはインターシップに参加させて頂くことができたからこそその経験だと強く感じた。 | 自分の進路を考えた上で必要な知識は自ら獲得しようとする姿勢が大切だと感じました。また、公務員獣医師を目指す際にはそれぞれの自治体や機関において重要となる心得を掴む必要があると感じた。 | 実際の現場を見学させて頂くことにより、自分の抱いていた勝手なイメージを修正することができて、進路を考える上でより具体的な指標にすることができた。 |
| 動物検疫所 | 私が想像していたよりも家畜防疫官の仕事が多岐にわたっていることを見学させていただいたことで初めて知った。もともと、将来についてはあまり考えたことがありませんでしたが、この二週間は将来をかんがえるのにあたり、ちょうどよい機会になった。 | 最初は二週間は長いなと思っていましたが、終わってみるとあっという間でしたし、この二週間はさまざまな濃い体験をさせて頂いた来ました。なので、今回のVPcampに対して不満はありません。 | 家畜防疫官の方々丁寧に教えてくださったので防疫について恐らく正しく理解できたと思う。 | 獣医の姿として小動物臨床がやはり第一に思い浮かんでいました。ただ、今回のインターンによって行政にかかわる獣医師という姿を目にすることができました。獣医として様々な世界で活躍できるという選択肢の広さを感じさせられました。今回のインターンによって獣医という職業に対して、視野が広がったように思う。 | もともと就職について何も考えたことがありませんでしたが、今回初めて考える良いきっかけになった。 |

| | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|
| 旭川市 | 普段では見れないような場所に行くことができ良かった。また、職員さんが実際に体験した事を話していただき、とても勉強になった。 | 説明の内容がほぼ知っていることで、少しもの足りなかった。もう少し、実技的な体験もできたら良かった。 | 様々な業務を体験させていただき、職員さんが実際にどのように仕事をしているかを見ることができて良かった。 | VPcamp を通じて、実際に働いている職員のみなさんのお話を聞くことができ、自分自身の視野が広がったように思う。 | もともと中核市は業務の幅が狭いイメージがあったが、県や政令指定都市と比べ市民と密接に関わることができ、また、行政的な作業もできることが分かり関心が深まった。 |
| 愛知県 | 公衆衛生獣医師の実際の仕事風景をみる事ができた。 | 内容が物足りなかった。 | 大学での授業内容以上のことをほとんどやらなかったため、少々ものたりなかった。 | 地方公務員には向かないと感じた。 | 獣医資格をもって働く必要を感じられなかった。 |
| 札幌市 | 私のずっとすんでいる、この札幌市という市のみたこともない面を、様々な施設を回るなかで見ることができ楽しかった。札幌市の人の優しさや、おおらかさに助けられ、忙しい中にも楽しい時間を過ごせた。 | 内容によっては退屈な内容もあり(私の興味の問題だが)、さらにてを動かして実習をするということがほとんどなかったので、眠くなる時もあった。 | ひとつの施設のことだけでなく、業務に関わる様々な施設で、様々な業務に携わる人の話を聞くことができて良かった。この期間でたくさんの経験をでき、充実していた。 | 変化というほどのものでもないかもしれないが、色々な人に出逢い、色々な話を聞くことができて将来を考えるきっかけをもらった。いい思い出ももらえて、いい方向に変化できたと思う。 | もともと大学のゼミ活動の内容から、公衆衛生分野の仕事には関心を持っていた。たくさんの業務があることを知り、故郷の札幌市に貢献したいという気持ちは増した。 |
| 動物医薬品検査所 | 実際に手を動かしてやれたこと | | 実際に業務の一部を体験させてもらったのでよくわかりました。職場のみなさんが優しく丁寧に質問等に答えてくださりとてもわかりやすかったです。 | 公衆衛生領域の必要性を強く再確認しました。 | 元々検査系の仕事に興味があったので今回応募しましたが、実際にやってみて更に興味が湧きました。 |
| 国立感染症研究所 | 職員の方が優しく質問しやすい環境でした。また、実習の内容の話だけでなく色々なお話を聞けて面白かった。 | タイムスケジュールが提示されず、次何をやるのかよく分からなかった。簡単でいいので欲しかった。 | 普段大学ではできないことや、授業より詳しい内容の話を聞くことができてとても勉強になりました。初めて参加しましたが、来年も都合が合えば参加したい。 | 人と動物の健康を同時に視野に入れて勉強してみたいと思った。 | 動物の病気をターゲットとし防疫を行い、国内への悪性病原体の侵入リスクを下げることで、動物で生計を立てる農家の方々および日本の畜産経済を直接的・間接的に守る家畜防疫官という職業にとっても魅力を感じた。今までは防疫を行うその先をあまり深く考えていなかったが、今回VPcamp に参加して、様々な法律に |

| | | | | | |
|----------------|---|---|--|--|--|
| | | | | | 則りながら動物を扱うことで人のために働くことが公衆衛生獣医師なのであると再認識した。 |
| 農林水産省動物検疫所成田支所 | 各課の実習全てが、業務の講義のみや見ているだけではなく、体験型であったため、実際にその職業に就くと一日をどのような業務に当てるのがよくわかった点が良かった。また、1班3人という丁度良い人数であったため、先方のお話も聞きやすかったうえ自分たちも質問等しやすく、+αでも多くのものを得ることができた。課長の皆様や職員の皆様とお話する機会も多く、業務や行政のことは何を聞いても丁寧に答えてくださり、それ以外のお話もしやすいとても良い雰囲気があった。 | 実習内容では特にはないが、強いて挙げるならば各課に要する自分たちの労力や行わせてもらえらるることの量、暇な時間がまちまちだった点。動物検疫課が三日間みっちりであったことに対して、貨物検査課や旅具検疫課は空き時間が多かった印象を受けた。しかし、実習が充実したため、良い休憩にはなっていた。 | 動物検疫課、貨物検査課、旅具検疫課の業務体験をさせていただいたが、どの課の業務も、動物検疫の目的とも言える、「海外悪性伝染病の病原体によるリスクを許容レベルまで減少させる」ということに則っていたことを強く感じた。それを実現させ、かつ経済的な流れを滞らせないようにするためには、リスクに応じて効率化・合理化が必要であるということもわかった。リスクの高い生体輸出入時は係留・臨床検査等必要であるが、滅菌後密閉等でリスクの低い畜産物輸出入時では、一見精密検査が必要に思える血液等でも、輸出国の衛生証明書を信頼しそれと一致検査のみ行うということ等に、その考え方を垣間見た気がした。 | 動物検疫所の方々の業務が、その行為の目的を必ず持ちながら行っていて、かつ根拠が明確であるためその時々に応じて行動の要不要を適切に判断できながら働いている姿に感銘を受けた。私も、できる限りの自分の行動に目的や根拠をもって行動しようとする獣医学生になった。 | 小動物臨床と公務員で進路に迷っており、公務員のインターンシップは今まで参加したことがありませんでした。今回VPcampを通して、公衆衛生分野の世界を見させていただき、公衆衛生行政に関する仕事に関心が高まりました。 |

| | | | | | |
|----------------|--|-------|--|--|---|
| 動物医薬品検査所 | 講義と実習が半々であったため、頭と体を使ってより深く理解することができました。内容も充実しており、動物医薬品検査所について余すことなく教えていただいた。 | 特になし。 | 実習では様々な国家検定を体験させていただき、また動物を殺処分する現場にも立ち会わせていただきました。獣医師の高度な専門知識が要求されると共に、判断一つが大きな影響を及ぼし命を扱う重大な責任を伴う業務であるということを肌で感じました。また、講義では薬剤耐性菌問題の対策や VICH 活動などについて学ばせていただき、問題解決に向けて様々な国や機関と連携がとられており、国や省庁という枠を超えた相互理解の重要性を学んだ。 | インターンシップを終えた今、公衆衛生行政への高い関心を抱くと共に、農林水産省職員として働かせていただきたいという思いを強くいたしました。今後はより一層勉学に励むと共に、研究室や所属している他大学のサークル活動などを通して、獣医学科の枠を超えた異なる学問分野の学生とも交流を深め、広い視野で物事を柔軟に考えていく力やコミュニケーションを磨いていきたいと思う。 | 海外の大学院の行くという目標があるため、就職先としての意識はなかった。 |
| 東京農工大学 感染症センター | 予演を含めて学会に参加することで、実習先についてより知ることができたこと。今後も自分の実験に関してお世話になるかもしれない大きなコネクションができたこと。自分の大学にダイレクトに還元できる技術を身に付けることができたこと | 特になし。 | 今回は、ラボの一員として実験をするというスタンスで受け入れてもらった。実際はその通りで、本当に普通の仕事と同じようなメンタルで実験をこなすことができた。また、自分と同じように感染症に身を置く人たちとコミュニケーションをとることで新しい考え方を身に着けることができた。 | ラボラトリへの適応能力はかなり増したと思う。また、自分の実験技術、感染症への考え方のレパートリーが増え、これは今後にもつながるかけがえのないものであると思う。 | 数年毎の転勤によって県内の端にまで仕事をしに行けることに魅力を感じた。 |
| 石川県 | 伺った機関の職員方がみな親切で、不勉強な部分も丁寧に説明してくださりたいへん勉強になった。 | | ウェブページで調べただけでは分からなかった、獣医師の業務や中枢である県庁と出先機関とのつながりと、働き方の違いを見せてもらえた。勉強が足りていない分野やこれから学ぶべきことが分かった。 | 公衆衛生に携わるためには、臨床獣医師よりも人間に近い視点で動物や微生物についての知識も必要だと思うようになった。 | 実際の現場で働いている獣医師の方々のお話を聞いて、自分も動物検疫所で是非働きたいという気持ちになった。 |

| | | | | | |
|----------------|--|---|--|---|--|
| 農林水産省動物検疫所成田支所 | | | 動物検疫所での実習は10日間で、1日がオリエンテーション、3日間ずつ3か所で実習を行うという形式で、それぞれの課で十分に質問等に答えていただいたので満足だった。 | | 衛生職の方々が、非常に和気あいあいとした感じで、とても環境がいいなと感じた |
| 札幌市 | 普段獣医がやる仕事を少しずつではあったが、知ることができた。 | 手を動かして行う実習が少なかった。 | いろいろな獣医師が配属される場所に行かせてもらい、獣医師の話もたくさん聞かせていただき、とても楽しかった。 | 札幌市は動物園も衛生系もあるので、学生のうちに様々なことを身につけておく必要があると感じた。 | 公務員獣医師の仕事のやりがいを知ることができて、より一層、卒後は公務員獣医師になりたいと考えるようになった。 |
| 富山県 | 具体的に公務員獣医師がどんな作業を行っているのかをしっかりと理解できるような構成となっていた点。 | 公衆衛生と家畜衛生のバランス。家畜衛生についても、もう少し詳しく知りたかった。 | どちら研修機関の職員の方々も、とても親切にわかりやすく教えていただき、本当にありがとうございました。勉強になった。 | 卒業までの残り3年の間に、もっとしっかり勉強しなくてはならないという危機意識を強く持てるようになった。 | 就職を考える際の判断材料としては大いに有意義だったが、特に関心の変化するような目新しいものを見ただけではなかった。 |
| 新潟市 | 実際に自分の手を動かして行う実習が適度にあり、見学だけの実習にならなかった点。 | 特になし。 | 実習を通し、現場ではどのような業務が公衆衛生分野では行われているかが理解でき、今後の進路選択を考える上で非常に参考になった。 | 公衆衛生も獣医の大切な役割だと再確認し、今後この分野についてより意欲的に学べるようになった。 | これまで公衆衛生獣医師の仕事については、授業で聞くぐらいであり実感を持てなかったが、実際に業務を経験してみると肌身で日々どのような仕事をされているのか、実感することが出来た。また、職員の方々からお話を伺うことで鳥取県の特徴を知ることができたのも良かったと思う。 |

| | | | | | |
|-------------|---|---|--|---|--|
| 鳥取県 | VPcamp で一括して募集から応募までできたため、便利だった。 | 合格の通知が遅かったこと。もう少し早く連絡してくれれば、飛行機やホテルのチケットも取りやすかった。 | 5日間の中で、牛や豚、鶏の解剖や診断、検査などにとどまらず、セリの見学や子牛の出産の立会など非常に貴重な経験をする事ができた。また、今回は家畜保健衛生所を中心とした実習だったが、期間が5日間あったため、畜産試験場や食肉検査場にも見学に行けたため、良かった。 | 自分が今まで学んできたことが実際の現場でも活かされる事が実感できるようになった。大学で学ぶことは単に国家試験に受かるためのものではなく、自分の将来にもつながっていくのだと実感できるようになったことは、今後のモチベーションに繋がる。 | 動物検疫所に獣医師として関わってみたいと心から思った。 |
| 農林水産省 動物検疫所 | 2週間にわたって各部署の業務を細かく教えていただき、仕事を実際に体験できた点。 | | 今回のこの実習に参加できて本当に良かったと思う。今までに全く知らなかった家畜防疫官の仕事を知ることができ、大変充実していた。 | 今後もっと知識を増やすために勉強をしたいという意欲が高まった。また英語の能力をもっと磨きたいと思えた。 | 自分が想像していた業務内容とは違う点が多く、場合によってはペーパー獣医師になってしまうこともあると知り、少し戸惑いを感じたことも幾度かあった。しかしながら、それ以上に「やっぱり、家畜防疫官になる！」という思いの方が強くなった。それは、実際に家畜防疫官として働いていらっしゃる方々の姿を見たからである。お客様への対応、関係業者の方々と築き上げている関係、動物への接し方、真剣に仕事に向き合う姿、私達インターン生への丁寧な対応、気遣い。私には皆さんが輝いてみえ、前よりも憧れが強くなった。 |

| | | | | | |
|-------|--|--|--|--|---|
| 動物検疫所 | 職員の方々が、私達がリラックスできるように場を和ませて下さった点。また、質問の時間を多く取って下さり、親身になって対応して下さいました点。 | なし。 | 私は動物検疫所で輸出入される動物や畜産物が安全か、そうでないかを判断するのだと思い込んでいた。しかしながら、実際は二重検疫制度であり、動物検疫所に到達するまでに、ある程度の安全性が確保されているものが本当に安全であるかを確認する場であった。これは実際に参加して初めて知ったことであり、他にも私が勝手にイメージしていた業務と異なる点が多く存在していた。自分が昔から興味があった職種について誤解していた点はきちんと正せ、知らなかった点は新たに知ることができた。 | 動物検疫所の実際のところについて、知らなかった学生から知った学生になった。また、知ったことにより、視野が広がり、より物事を考察できる学生になった。 | 以前、愛知県の公衆衛生に従事している獣医師の業務に関して、公務員獣医師就職説明会で説明を受けた。そこでこの分野に興味を湧き、実習に参加した。実際に参加したところ、現場で働く人の仕事へのやりがいについてお話を聞くことができ、より就職先として関心が高まった。 |
| 愛知県 | 大学ではじっくりと見ることのできなかった興味のある分野の施設に行くことができた。また、そこで行われている業務に関して、同行する前に講義を受けることができたので、より深く理解することができた。質問を随時受け付けてくれたため、質問しやすい環境であった。 | 私は実習先が実家付近であったため、公共交通機関が通っていない実習先に容易に行くことができた。しかし、県外からくる学生には参加しにくいと思われる。また、検査や試験については見学が多く、実際に手を動かす実習があるとより理解が深まり、興味が増すのではないかと考える。 | 公衆衛生に従事する獣医師の働く現場を初めてじっくりと見ることができた。また、大学の授業で勉強した内容がどのように社会に役立つのかを学ぶことができた。さらに、公務員が厳重な管理をすることで、多くの人々の食の安全が守られ環境衛生を保持されているということが実感することができた。理解を深め、多くの学ぶ機会を得ることができた。充実した5日間を過ごすことができた。 | 大学で学んだ内容が、業務に直結していることを実感した。そのため、より大学での勉学に励むことを決意した。また、公衆衛生に関する学問に対して、以前より興味を持って勉強に臨むことができると思う。 | もともと関心はあったのですが、もっとしっかり勉強しないといけないことを改めて感じました。 |
| 動物検疫所 | 動物検疫所で実際に何をやっているのかがしっかりわかった。 | ありません。 | 各課に3日ずつでとてもわかりやすく、親切に教えて頂けた。 | 日々の勉強をもっとしっかり行い、仕事に活かせるようにしないとけないと思った。 | 私は、動物検疫所で実際に行われている業務や実際に働いている方々の話をインターネットや新聞記事で見ることがあったのですが、今回のインターンシップを通して、それらはほんの一部分であった事に気づきま |

| | | | | | |
|------------|---|--|--|---|---|
| | | | | | した。また、検疫所で働くに当たり付き物である全国転勤も、職員さんの話を聞き、全国に行って色々な経験を積むことができるというプラスの方向に捉えられるようになりました。また、女性にとっても働きやすい環境であるなどとても魅力の多い職業であることがわかりました。 |
| 動物検疫所 成田支所 | 職員の方は親切で気さくな方が多く、こちらのするどんな質問にもとても丁寧に答えて下さいました。また、その時々によってどんな動物が係留されているのかが変わると思うのですが、運よく幅広い動物の検査(採血/糞便採取)を見ることができ、とても良い機会になりました。 | もう少しだけ、他大の学生と話す機会があったら良いなと思いました。ほとんどの人は初日と最終日の午後以外会うことはなかったため、もう少し交流してみたかったです。 | 職員の方々にとっても質問がしやすい雰囲気だったため、疑問点などをすぐ解決することが出来ました。また、幅広く業務を見学・体験させていただけたため、将来を考える上でとても良い経験になりました。 | 大学で行ったことのある検査法に関する知識が異なっており、勉強になりました。また大学で行ったことのない馬パラチフスの試験管凝集反応試験をさせてもらうことができ、とても良い機会になりました。 | 公衆衛生行政というと、人の健康を守るための業務を想像していたのが、思ったより動物(の病気など)と関わる機会が多く興味をひかれた。 |
| 新潟市 | 全体的に満足できる実習であったが、職員の方々が忙しい中もやさしく対応してくださったのが印象的である。また、大学の授業等ではなかなか体験できない、実際の現場に入行って間近で業務を体験することができ良かったと感じている。 | 実習期間がやや短く、食肉衛生検査所以外の実習が物足りなかったように感じる。特に、動物愛護センターでは見学・説明中心で実際に職員が業務を行っている姿を見られなかったことが残念である。 | 新潟市食肉衛生検査所の業務内容を詳しく説明してもらい、実際の現場での業務を間近で見学することにより、新潟市の食肉衛生行政についてより深い理解が得られたと感じている。新潟市保健所や動物愛護センターは実習期間の都合上半日ずつであったが、概ね業務を把握することができた。衛生環境研究所を訪れたことは今までなく、どのようなことをやっているか想像がつかなかったが、実際の業務を見学・体験することで少しでも理解することができたと感じている。 | 現場に出て業務を体験することで、どのような知識や技術を身につけていなければならないのかを知ることができた。また、漫然と行ってしまいがちな試験室での作業も、その一つの動作の意味を知り、その結果により次はどのようなことをするのかなどを考えることの重要性を感じ取れるようになった。 | 上記で述べた理由と、雰囲気や仕事内容に好感を持ったことから、かなり関心が高まった。 |

| | | | | | |
|----------|---|--------------------------|--|--|---|
| 京都府 | 公務員獣医師の働く組織に実際にいくことで、リアルな仕事内容を知れて、現実的に将来の進路先として考えることができた。 | 不満はない。 | 卒業後の進路に迷っており公務員に興味があった。しかし、公務員獣医師の仕事内容がよくわからず、実習に参加した。この5日間で仕事内容をかなり具体的に知ることができた。 | 獣医学に関する勉強だけでなく、仕事をする上で様々な分野のことを勉強しなければいけないと実感し、そのような意識を持って今後の大学生活を送って行こうと思えた。 | 馬に対して今まで以上に興味を持ち、馬を対象とする仕事に対しても就職をさらに強く希望するようになりました。 |
| 日本中央競馬協会 | 現場で働いている研究者の方々から興味深い話を聞くことができた点が良かった。また、感染症以外にも運動器や再生医療についての最先端の研究を見学という形で一部知ることができて良かった。 | 特になし。 | 馬の感染症について講義、実習を通して感染症の実態や診断法、治療法について深く知ることができました。さらに、毎日の馬の世話や乗馬体験で馬という生き物を身近に感じることができました。大学の設備の関係上今まで馬に触れる機会が少なかったので、初めての体験が多く、多くのことを学ぶことができた。 | 馬の感染症とその実際について、現場で活躍する研究者の方々から知識・手技を教わったことで、普段から現場をより意識して学習していき獣医学生になることができたと思います。また、感染症をはじめとする公衆衛生の内容について今まで以上に興味を持つようになった。 | 元々公務員を考えており、公衆衛生獣医師の良い点悪い点両方見ることができた。 |
| 岡山市 | 働いている獣医師の方が岡山市の良い点悪い点両方教えてくれた点。 | 自分が手を動かしてする実習・実験が少なかった点。 | 岡山市の獣医師の業務について知れたのがよかった。食肉検査所は非常に朝が早いのに驚いた。しかしながら、と畜検査自体は3時間ほどで終わるので、そのほかの時間を研究などに充てることができるのがいいと感じた。 | 自分が食べている肉について関心を持つようになった | もともと公務員獣医師になりたいという気持ちはあったが、新潟県への就職はあまり考えておらず、関東地方で就職したいと考えていた。しかし今回のインターンシップで、東京-新潟間は新幹線一本で行けることや、職員の方々から受けた印象より、新潟県への就職も深く考えるようになった。 |

| | | | | | |
|----------|---|--|--|---|--|
| 新潟県 | 食肉衛生検査センターの職員の方々がとても親切な方ばかりで、業務内容だけでなく新潟県に就職した理由や学生時代の勉強や研究についてのお話もたくさん聞くことができた点。 | 実習時間が半日しかない場合もあり、あまりゆっくりお話を聞いてもらえないこともあった。 | 一番興味のあった食肉衛生検査センターだけでなく、保健所や地方衛生研究所といった公務員になったときに就く可能性のある職場の実際の様子や業務を知ることができ、将来公務員獣医師として働くことの具体的なイメージができるようになった。実習の内容が濃く、毎日多くの学びがあり、思っていた以上に疲れたため、5日間という実習期間はちょうど良いと感じた。 | 公務員獣医師になるという決意が固まり、それに向けて学業に励もうという心構えになった。 | 具体的な仕事のイメージを持つことができ、より札幌市への興味が増えました。 |
| 札幌市 | 市場や動物園といった特色のある職務内容、そこで活躍する獣医師を知ることができたこと。動物管理センターでは全国的にも誇れる殺処分ゼロを達成しており、その為の努力を知ることができたこと。 | 動物園以外では見学が中心で実際に作業をすることができなかつたこと。 | 札幌市の獣医師が働く現場を見学させていただき、市の多岐にわたる業務を知ることができました。ほかの自治体ではなかなか無いような市場や動物園の業務についても見学し、職務に対する具体的なイメージができました。 | 市の仕事は何より市民との対話が大事であることを学びました。これは、獣医として働く上でどのような職でも大切なことであると思うようになった。 | 私は動物検疫所に興味がありましたが、今回のインターンシップで動物医薬品検査所が非常に魅力的で、幅広いお仕事ができることを知り、動物医薬品検査所でも働いてみたいと思うようになった。 |
| 動物医薬品検査所 | 動物医薬品検査所で実際に行われている検査業務を体験させて頂けたこと。国家公務員獣医師として働くことについての貴重な意見を聞けたこと。動物医薬品についての知識が増えたこと。 | 無い。 | 動物医薬品検査所のことを知って、将来の就職に活かそうと思い、応募しました。想像以上にたくさんのお話をさせて頂き、動物医薬品検査所のこと、動物医薬品のこと、国家公務員としての活動についてなど、多くのことを学べて本当に参加して良かった。 | 学校の授業では、動物医薬品のこと、動物医薬品における世界的取り組みなど深くは学びませんが、今回のインターンシップを通じて、動物医薬品がヒト、動物、環境と密接に関わっていることを知り、改めて公衆衛生の大事さを痛感した。公衆衛生の向上には、動物の犠牲もつきものである現実も知り、動物の命を無駄にしないためにも、動物医薬品検査所の方々は常に使命感を持ってお仕事をされているんだと思った。公 | 実習を受けたことで、衛生職という職業の幅が想像よりも広く、異動をすることで、公衆衛生に関わる職場から動物園まで様々な業務を行えることがわかり、札幌市衛生職への関心が高まった。また職員の方が自分の仕事にやりがいと責任を感じており、自分が就職した場合、やりがいのある仕事ができると感じた。また札幌市衛生職の職員の方が暖かく対応してくださったため、就職しても良い職場であろうと感じ、就職先としての関心は |

| | | | | | |
|--------------|--|-------------------|--|--|--|
| | | | | 衆衛生の向上を動物医薬品の立場から関われる獣医師もとてもやりがいがあると感じた。 | 増した。 |
| 札幌市 | 多くの職場を見学できた点。中央卸売市場の中に入り、セリなどを間近で見られた点。食品製造施設（肉製品の工場）の中に入り、普段では見れない製造ラインを見学できた点。円山動物園で動物を実際に診療している光景を間近で見られた点。衛生職の方の生の声を聞けた点。採用試験についての説明があった点。 | 実習よりも見学、講義が多かった点。 | 札幌市では獣医師としての採用はなく、衛生職として採用している。そのため食品衛生監視員など公衆衛生に関わる職場から、円山動物園、動物管理センターなど獣医師でなければ行えない業務が多い職場まであり、その職域はとても広い。今回は幅広い職場の多くの見学、実習ができたため、非常に有意義な実習となった。 | 公衆衛生行政が国民、市民の安全・安心を守っている重要な職業であることをより理解した獣医学生に変化した。 | 今まで JRA 獣医師に関してはイメージだけで憧れを持っていましたが、実際にその役割を知ったり、JRA の方と話したりすることでその憧れが具体的なものになり関心が増した。 |
| JRA 競走馬総合研究所 | | 特になし。 | 大学ではウマに触れる機会が少ないのでウマのハンドリングやサンプルを採取してそれを調べたりと貴重な経験ができ、また憧れの JRA 獣医師について知ることができて良かった。 | 学校で学ぶことは教科書に沿ったことばかりだが、実際に会社で実習をしたり、現役の獣医師さんと話すことでそれがどう役に立つか少しだけ見えてきた。 | 公務員獣医師の仕事が全く分からない状態でこの実習に参加しました。想像以上に幅広い仕事をしていて、移動もあり多くの事を学べるという事が分かりました。この実習を通して公務員獣医師の仕事にとっても興味を持ったため、就職について沢山考えて卒業後の進路を決めたいと思う。 |

| | | | | | |
|-----------------|--|---|--|---|---|
| 山口県 | 山口県出身にも関わらず、山口県の畜産や動物愛護の実態について知らない事が多くとても勉強になり、興味深かったです。 | 特にありません。皆さん、丁寧に説明してくださり有難かった。 | 5日間とも異なる公務員獣医師の仕事を見て、職務の幅広さを感じました。人々との関わりもあり、やりがいのある仕事だと思いました。 | 小動物獣医師の職務しか知らなかった私の視野が大きく広がりました。今までに習った講義の内容についても更に知識が深まり、獣医学の様々な分野により興味を抱くようになりました。 | 現場の声を聞かせていただいて外部の方を招いた講義や市場だけではわからない魅力を教えていただいたからです。また複数の方からここで働くまでの多様な背景を聞くことができたのでそれも励みになった。 |
| 日本中央競馬会競走馬総合研究所 | 総じて受け入れ先の皆さまが優しく指導してくださった点と志望動機に合致した経験ができた点がよかったです。 | 不満はないです。 | 感染症診断法について詳細な解説と丁寧な指導の下で学ぶことができた。また、接する機会の少ない馬についての知識を強く深めることができた。 | 現場で使われる知識や技術は多少身に付きましたが私自身は変わることができなかった。 | |
| 動物検疫所 | 2週間かけて全ての課の仕事を体験見学できた点。 | | 普段決して見ることでできない、空港内での動物検疫所の業務場所を万遍なく巡らせていただき非常に有意義な実習期間であった。それぞれの課においても、大変丁寧に業務内容を説明していただき感謝している。 | 考えを積極的に自分の言葉で述べられる学生。 | 動物検疫と一言に述べてもその仕事内容は多岐にわたり、書類チェックなども含め一つの作業が我国の防疫に関わっていた。シビアな仕事が増える中でも、働いている皆さんは非常に気さくで仲が良かった。こんな中で日本の防疫に一役買いたいと思えた。 |
| JRA 総合研究所 | 様々な研究室の先生方が実際に教えてくださったこと。幅広く多くの分野を教えていただいた。 | なし。 | どのような検査法があるのか、その原理は、などを実際の道具を用いて教えて頂いた。普段の大学では行えない実習をさせていただき、貴重な体験をさせていただいた。 | 将来の就職先について、真剣に考えるようになった。 | ますます憧れが強くなりました。将来必ず馬関係の獣医師になりたいと思った。 |
| JRA 競走馬総合研究所 | 実習が充実した構成で、実際に手を動かして学ぶことができたところ。また、大学以外で行う実習は、すべてが新鮮で大学とはまた違った視点で学べることも良かった。他に | スケジュールの進行が少しスムーズでない点が気になりましたが、その分いろんなところで臨機応変に変更して対応してくださったので、問題となることはありません | 初日から丁寧に指導してくださり、大変有意義な五日間を過ごすことができました。講義でも実習でも、わからないところは質問するとすぐにこたえていただきました。そのおかげで、少し迷うところやふと気になったところなど、遠慮なく近くの先生方に質問できるところが本当によかったです。 | 今まで大学での講義や実習などを経て、何となく公衆衛生行政への知識や実験の知識、実験器具の操作などは知っていたつもりだった。しかし、やはりカリキュラムの一環として受け身の姿勢で受けていたと今回の実 | 私はこの実習に参加するまで馬に関わる仕事、特に研究となると具体的に何をを行い、それがどういう場面で役に立つのかということを知りませんでした。そのため、興味がわき応募したのですが、実際に働 |

| | | | | | |
|---------------|---|---|--|---|--|
| | も、馬という動物を軸として行っている研究やその施設を実際に見ることができ点、その場所で働く方々と実習を行うことができる点、講義や実習を通して、今やっていることが現場ではこういう時に行っているなど具体的な場面も教えていただけるとい点、など大学では学べない貴重な経験ができたことが一番良かったです。 | んでした。 | 初日からうまくできなかった採血の補習をいやな顔一つせず行ってください、とてもうれしかったです。本当に充実した五日間で実習中はあっという間に時間が過ぎてしまい、最終日は名残惜しくありましたが、それだけ濃密な時間を過ごせたのだと思いました。 | 習で感じた。また、馬に関する公衆衛生行政はほとんど知識がなかったので、講義ではじめて知ることも多かった。今回の実習を通して、すでに大学で経験した実習が現場で実際に使われていることを知り、これからの学生生活では受け身の姿勢を直していくことはもちろん、ただその操作方法を学ぶだけではなく、その実験の意味やどういった場所で行っているのか、ということ積極的に学んでいかなければせっかくの知識も役に立たないと感じた。 | く方々に教えていただき、こういったことを仕事としているんだ、という具体性が増したことでさらに興味がわいたため就職先としての関心も増しました。公衆衛生行政に関しては、もともと関心は強くなりましたが、参加によって知らないことを学べたことでさらに強くなった。 |
| 農林水産省動物医薬品検査所 | 漠然としたイメージでなく、具体的に検査を見せていただいたり、やらせていただくことができました。また講義もわかりやすかった。 | 自宅からだととても遠くて、通うのがつらかった。交通費もだいぶかかってしまいました。 | 行政という漠然としたイメージしか持っていました。しかし、実際に参加してみて、大学の实習でならったことを用いて検査したり、国際会議に参加したり、動物実験を行っていることを知った。 | 大学の实習ひとつひとつをもっと大切にしようと思いました。また英語の必要性もとても感じ、あらためて復習しようと思った。 | 国としての動きをまったく知らなかったのですが、参加してみてその一部だけですが、知ることができた。 |
| 京都府 | 様々な現場を体験し、その場で働かされている方の話を伺うことができ、非常に勉強になった。 | 始業時間はあらかじめ知らされていたが、終了時間は当日にならないと分からなかったため、事前に教えていただけると良かった。 | 五日間の日程を通して、本庁、保健環境研究所、食肉センター、保健所、動物愛護センターなどの現場を見学、体験することができ、それぞれの現場の業務内容、雰囲気を知ることができた。 | 参加前は、公衆衛生行政に関心があるといっても、具体的な内容については何も知らなかった。参加したことによって、理解が深まり、公衆衛生分野に明確に興味を持つようになった。 | もともと公衆衛生行政に関する仕事は就職先の一つとしてとらえていた。しかし、VPcampを通じて、京都府の業務についてよく知ることが出来たので関心が増した。 |

| | | | | | |
|-----------|--|---|--|--|--|
| 岩手県 | 少人数だったため、質問などがわしやすかった。 | | たくさんの施設で実習できたため、広く理解することができた。 | 実践的な実習はあまり多くなかったため、そのような技術はたくさんは身につけなかったが、普段の授業内容が意外と現場に直結していることを知ったので今後さらに普段の授業に力を入れようと思った。 | もともと就職先として考えていたが、今回の実習を終えて、就職先としてさらにイメージしやすくなった。 |
| 富山県 | 幅広い施設の業務内容を見学・体験できたことや、実際に働いていらっしゃる方と直接お話しできる機会が多かったこと、どんなに些細な質問にも詳しく答えていただけたこと。 | 各施設が離れているため、移動するのにかなり時間がかかることです。また、募集の内容を見るだけでは富山県の特徴が分かりづらいつ感じました。 | 富山県で働く獣医師から直にお話を聞くことができ、また業務も一部体験することができたので、自分の今後のライフプランを想像しやすかった。 | まだ大学で習得していない分野もありましたが、今後学ぶことがどのように現場で生かせるのかということを知ることができ、より一層勉学に対する意識が高まった。 | 実習に参加する前までは、畜産が盛んな県ではないし、獣医師の仕事といってもデスクワークが中心と思っていたのですが、実習に参加し、検査や研究の業務も多岐に渡り、興味を持てる職場もかなりあり関心を持つようになりました。また、女性でもかなり働きやすいというイメージも加わった。 |
| JRA 総合研究所 | 職員の実習担当の方を初め大勢の職員が、学生に興味をもって楽しんでもらおうと動いてくれたのがわかり良かった。とても楽しく勉強できた。 | 時間配分が少し不適当であった。 | とても良かった。馬と触れ合う時間が長くて、馬のことについてたくさん知ることができて良かった。参加する前は実習内容についてわからないことだらけで不安だったが、参加してみると職員の方々がかなりわかりやすく教えてくださったので安心して実習を行うことができた。 | 今回の実習で馬の基本的な扱い方に関する技術が身についた。また、競走馬に関する感染症について知ることができた。 | JRA で働く職員方の話を聞いて、仕事内容にとっても興味を持てた。どの方も楽しそうに話していたので、明るい職場だなと感じた。 |
| 新潟県 | 食肉検査業務を間近で見学できたこと。動物愛護業務に関わられたこと。保健環境科学研究所というところがあることを知れたこと。 | 愛鳥センターが古かったこと。あまり保健所の通常業務を見れなかったこと。 | 食肉検査業務の体験や食鳥検査の見学ができて良かった。動物愛護の割合がもう少し多かったら良かった。保健所の通常業務も見学したり体験したかった。 | 就職について考える機会になった。動物愛護に対する関心が増した。 | あまり保健所の業務を知れなかったから。また、今回の実習を通じて興味のある職種が変わった。 |

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|--|---|
| 福井県 | 公衆衛生行政に携わることになった時に行うであろうほとんどすべての業務を見ることができた点。 | 特になし。 | 県の方が本当に丁寧に応対してくださり、様々な業務を体験して大変勉強になった。 | 今習っていることがどのように世の中に関わってくるのかを考えながら勉強できるようになったと思う。 | 業務について詳しく知ることができたのはもちろんのこと、職員の方々が楽しそうに仕事をしている姿を見て好感をもった。 |
| JRA総合研究所 | 一番は大学では扱うことのない競走馬と触れることができた点で、競走馬は犬猫や牛とも異なる繊細な性格をしており、その点を理解して馬と接することができるか、馬の世界で仕事を全うできるか否かということ強く痛感した。 | 実習内容は十分満足しているが、悪かったと思った点は、宿泊施設が外部にあり、実習地とのアクセスが多少不便であったことである。 | 実際の競走馬を使った実習など大学ではできない貴重な体験をできたことは今後の自分の経験として役に立つと思う。また、獣医師は様々な動物について勉強するが、1つの動物に限って勉強する機会はなかなかないため、一種の動物を重点的かつ短期間で学ぶことは非常に効率の良い実習内容であると思う。 | 講義で学んだ知識を実際に体験できたことでさらに知識が深まり、さらに現場における対応や勘による直感的な予測などを多少なりとも身近に触れることによって、より実践的な知識が身についたと思う。 | 講義や資料だけでは、実際に獣医師が競馬会でのどのような活躍しているか内容をつかめないうえに、実習を通して現場の声を聴き、実際に自分が体験することで実感をつかむことができ、この仕事についてみたいという意欲がさらに増した。 |
| 福井県 | 業務の概要の説明を受けてから、実際の業務内容などを見学させていただいたため、より理解が深まった。 | 特になし | 業務内容などについて具体的に説明してくださり、また、実際に業務を見学させていただいたことで、公衆衛生に携わる獣医師の業務を適切に理解することが出来た。 | 公衆衛生分野への関心がより増したのと同時に、自身の知識不足を強く実感したため、より一層勉学に励みたいと感じた。 | 以前から公衆衛生行政に関係する仕事に携わりたいと考えていたが、今回のVPcampを通して、より関心が増した。 |
| 京都府 | 北部から南部まで様々な施設で実習できたのが良かった。特に帯同実習が、実際に仕事をされている所を見ることができたので良い経験になったと思う。 | 特になし | 地方公務員の業務を一通り5日間という短期間で知ることができたのが良かった。 | 学校で学んだことが基礎として生きてくると感じたので、日々しっかりと勉強しようと思えた。 | はじめは地方公務員の仕事について具体的には何も知らなかったが、この実習を通してとても魅力的な業務だと思えた。 |
| 石川県 | 実習仲間との出会い、職員さんとの出会い等いろんな出会いがあった。 | 自費であるため金銭負担がかかること | 公衆衛生に関するけんのいろいろな施設を短期間で見学できた。 | | 実際に行ってみなければわからないことがたくさんあることを改めて感じた。 |
| 福岡市、及びFAMIC | 地方公務員と国家公務員の比較をしながら、実際の業務内容や考え方の違いを学べた。 | 福岡市内の移動がやや大変だった。 | 〈福岡市〉3日間毎日、各支部を回ったため業務概要の説明がほとんどなくなってしまい、実習が少なかったが、総合的に学べた。 〈FAMIC〉説明よりも実習が多く、実際に手を動かして学べた。 | 獣医師は動物の命を助けるだけでなく、人の生活を守っていることを改めて実感できた。 | 〈福岡市〉参加前は、公務員として働いている獣医師の範囲が分からなかったが、参加後はそれを知ることが出来、獣医師以外の職員がいる職場である利点や幅広く活躍ができる |

| | | | | | |
|----------|--|---|--|---|---|
| | | | | | こと、転居をせずに済むことや福岡市の住み心地の良さなどを知ることができた。 〈FAMIC〉同じく、参加後に業務内容を知ることができ、福利厚生や全国転勤の実情を知ることができた。 |
| 埼玉県 | 学校の授業でやった知識やこれから勉強することを現場で働いていらっしゃる方から直接、聞くことができた点。 | あまり実習期間が長くなかったため、分析の実習では分析を最初からできなかった点。 | 私にとって難しいことばかりだったが指導員の方が詳しく教えてくださったため、理解することができた。 | 今回の実習に参加して現場での実践的な知識や公衆衛生に関する仕事に就きたいというモチベーションが高まり、今まで校外の実習には消極的だったがこれから、積極的に参加しようと思った。 | 私が希望しているひとつの食品衛生に関連していたため、興味が持てた。 |
| 中央競馬会研究所 | 設備や先生方の知識の豊富さに恵まれた実習でした。質問に対して的確かつ丁寧に答えていただけました。 | 特にありません。 | 学ぶにあたり、施設には恵まれ、また先生方の知識が豊富で、教え方も非常に丁寧で、勉強になりました。学生が理解しやすいよう、馬の解剖からカリキュラムを組み立てていただいている、その後のレントゲン、内視鏡、エコーの実習が非常にわかりやすかった。馬の解剖の機会が大学では一度しかなかったため、実際の馬を解剖して用いさせていただけ、とても貴重な機会となった。 | 5日間の短い期間でしたが、馬への接し方が少しわかるようになりました。また、頸静脈への注射や、腕節や球節に包帯を巻くことなど臨時的な処置の一部が可能となりました。また、馬の臨床を扱う獣医師への理解が深まり、あこがれも増しました。今回学んだことを、将来どんな職に就いても生かしていこうと思った。 | 今回参加させていただいたことで、単純に馬がさらに好きになったということと、施設のすばらしさにより、就職先としての希望は高まった。 |
| JRA | 馬とたくさん触れ合えた。学校ではできない貴重な実習をやらせていただいた。JRAで働いている方の体験談を聞くことができた。 | スリッパなど最初から用意されていたものがあって、用意しなくてもいいものは教ほしい。 | 難しい原理の検査も実際に実習を行うことでわかりやすくなった。 | 公衆衛生の知識はある程度はあったが、今回の実習でより深まった。実際行ってる検査を一通り学ばせていただけ、楽しかった。 | JRAというより馬に関心があったため応募したが、実習させていただいてJRAにも興味を持った。 |

| | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|
| 日本中央競馬会 | 丁寧にご指導いただいたので、複雑な作業も苦手意識を持つことなく進めることが出来た。 | かなり濃縮した5日間だったので、もう少し実習期間が長いとより習熟できたのではないかと感じた。 | 大変有意義な5日間でした。大学で馬について学べる機会は少ないので、馬の取り扱いから馬特有の疾患について学ぶ貴重な機会となりました。教科書の文言でしか知らなかった伝染性貧血のゲル内沈降反応を実際に行うなど、通常学習をより理解する助けにもなった。 | 講義スライドは写真が豊富で、実際の経験談など伺いながら、包括的に感染症について学ぶことが出来ました。馬からの採材し、その検体を用いて簡易キットでの診断まで一連の流れを実際に自分で行うことで、実践的な技術の習得にもつながりました。最終日のテストでもう一度流れを復習する機会にも恵まれ、自分がどの程度理解しているか確認する機会にもなった。 | 元々興味のある分野でしたが、検査の頻度や現場でのやりがいなどを伺って、今回参加したJRA自体への興味も増した。また、家畜保健所でもやるような共通する検査を経験する機会があり、そちらについても興味を持つきっかけにもなった。 |
| JRA | 講義ばかりでなく実習中心で実際に手を動かす作業が多かったのが良かった。試験もすべて実習であった。また、期間も丁度良く、馬に対する興味をもつきっかけとなった。実習の進行も臨機応変に対応していただき、スムーズに行うことが出来た。 | 特になし。 | 感染症コースということで簡易検査キットや菌の染色を行うとともに、馬の採血や聴診・触診など貴重な実習を受けられて良かった。3年生では馬の採血はまだ実施していないので学べて為になった。 | 実習内容は大学の实習で行ったものと同様のものも多かった。改めて普段の実習・授業の大切さを認識し、将来を考えて今の学生のうちに勉学により励もうと思った。 | 実際に働いていらっしゃる方々の声や意見を聞いたり、行っている研究内容、その企業の仕組みなどを知ることができた。実際に自分で聞いて、目で見たことで就職に対する漠然としたイメージが少し明瞭になったと思う。 |
| 動物医薬品検査所 | 実際の業務と同じような内容について体感させていただけたこと。 | 講義の時間に対して講義内容が多いと感じたところ。 | 内容についてはやや高度なことが多く、理解するのに時間がかかりそうだが、実際に業務風景を見たり行えたりしたので、そこで働いたらどのような雰囲気になるのか体感出来て良かった。 | 研究的な分野に最も興味があったが、検査等によって食の安全を守っていくことに携わることへの関心も強くなった。 | 実際の業務以外にも、職員の方から入社後の異動などの流れや職場の雰囲気など、具体的な話が聞けたので自分に置き換えて考えることができ、より関心が増した。 |

| | | | | | |
|------------------------|---|--|--|--|--|
| 農林水産消費安全技術センター (FAMIC) | たくさんの資料をご用意してただけたので、実験や業務についての説明が非常に分かりやすかった。 | お忙しいことは重々承知しておりますが、もっと獣医師として勤務している方とお話できる機会が欲しかった。 | HP や伝聞では分からない社風を目と肌で感じる事ができ、また業務内容の理解を深めることができた。 | 自分の研究室では行わない実験技術に触れたことで、新たな研究手段の視野を広げることができた。 | 国家公務員の行う実験は業務的な機会しかないと考えておりましたが実際は幅広い実験手段があるのだと知って、業務以外の研究機会も多い場所への就職の関心が高まった。 |
| 福岡市 | | 福岡市の施設間の情報共有が上手くいっていなかった。持ち物で必要な物と記載されていたものが必要でなかった。食肉検査所の方としか、事前に連絡をとっておらず、他の施設での実習内容や持ち物が不明であった。 | | | |
| 岡山県 | 実際の様々な業務を可能な限り体験させてくださった点。 | 特にありません。 | と畜場にて実際に臓器に触れて検査を体験させていただけたことに驚くと共に貴重な体験をさせていただけたことに喜びを感じた。 | 大学での勉強が生きてくることを体感し、今まで以上に勉学に勤しまなければと思うようになった。 | 元々興味はあったのですが、実際の現場を見てより一層興味が深まりました。 |
| 八王子市 | 大学ではわからない実際の職場を見学できたこと。 | 特にない。 | 大学で学んでいた公衆衛生の仕事が実際の現場でどのように仕事になっているかわかって新鮮だった。 | 大学で学ぶことが社会でどのように活かされるかイメージがついたことで、より熱心に学習ができるようになったと思う。 | やりがいのある職場だったので、就職の関心は増した。 |
| JRA 総合研究所 | まず最初に馬の解剖について学び、その構造を頭に入れたうえでそのうちの特定の部位（今回は関節、喉頭など）での疾病やその診断に必要な検査法を学ぶことで、順序立てて理解することができた。内視鏡検査や心臓エコー検査、四 | 馬の解剖については、時間の関係もあったかもしれないが全体的にもっと詳しく説明して頂ければ、さらに理解が深まったと思われる。 | 今まで大学ではほとんどしてこなかった馬の内視鏡検査の方法や、馬の疾病のことについてとても丁寧に説明して下さい、実際に自分で体験させてもらうことで内容が理解しやすかった。 | それまでは獣医師の仕事は小動物の病院などくらいしか知らず、公務員獣医師の仕事内容などよく分からなかったが、こうした実習に参加して家畜保健衛生所やNOSAIの仕事の違い、そして研究職についてなど、獣医師の仕事内容や就職先についての理解が深まり、こ | 今まで JRA のイメージは競走馬の治療ということしかなかったが、今回の実習で総合研究所では感染症の研究やワクチン開発、運動機能の研究など臨床の場だけでなく研究機関でも職場があることを知ることができたため、就職するにおいて参考になったとともに、 |

| | | | | | |
|--------------------|--|--|---|---|---|
| | <p>肢の腱、靭帯の検査など自分で実際にすることで理解がとて深まった。また実習プログラムがしっかりと組まれており、様々な内容を勉強することができた。</p> | | | <p>うした職場への就職に興味を持つようになった。</p> | <p>実際の職場の様子や働かれている獣医師の先生方の様子を見て、以前は参考程度に考えていたが、この職場で働きたいという気持ちが強まった。</p> |
| <p>動物衛生研究部門</p> | <p>大学の実習と異なり、基本的にどの作業も1人で行わせていただけたことや、質問などがしやすかったののでしっかりと実習内容を理解することができた。</p> | | <p>鶏の病理解剖など大学ではできない経験ができた。また、施設を実際に見て、そこで働く方の話を聞いたので、どのような仕事をしているのかを理解しやすく、就職の検討の上で参考になるお話もたくさん聞いて良かった。</p> | <p>将来の選択肢の視野が広がった。特に公衆衛生に関する関心が増した。</p> | |
| <p>日本中央競馬会</p> | <p>多くの獣医師方にご指導をいただけたこと。実際の馬、機器に触れる機会を多く用意して下さった点。乗馬の機会をいただけたこと。</p> | <p>なし。</p> | <p>プログラムの組み方が非常に考えられた構成になっており、とても理解しやすい実習内容だった。</p> | <p>教科書やプリントの上で覚えてテストで点数が取れたとしても実際の馬を前にしてその知識をすぐには引き出せないことが分かった。これからはこれまで学んだことを繋げて断片的な知識ではなく一つの繋がりととしての知識を身につけたいと思う。そのためにもこれからも実習に積極的に参加し実際の馬やその症例を見て、学んだことを関連付けて思い出せるような獣医学生になりたいと思う。</p> | <p>今まで馬の獣医師という職業について避けていたところがありましたが、今回のサマースクールに参加し、馬の獣医師という仕事に憧れを抱くようになり、就職先としての関心が増した。</p> |
| <p>JRA 日本中央競馬会</p> | <p>実際に馬に触れる時間が多かった点。また、レントゲン検査やエコー検査の際は全員が実際に手技を行うことができた点。</p> | <p>講義の資料が配布されないことがあり、全てメモすることができなかつた点。</p> | <p>他の馬の実習とかぶらないような範囲を学ぶことができたと思う。5日間で経験できた全ての出来事が楽しかった。JRAの職員の方や、実習の仲間とたくさん話げできたことで、自分の将来について深く見つめ直す機会と</p> | <p>他の学生よりも馬に関する知識、経験が身に付いたと思う。また獣医師が貢献できる分野の1つとしてJRAを深く知ることができた。</p> | <p>JRAの職員の方や、実習の仲間とたくさん話げできたことで、自分の将来について深く見つめ直す機会となり、大変満足している。就職先の一つとして関心が</p> |

| | | | | | |
|----------------------|--|---|---|---|--|
| | | | なり、大変満足している。実習に参加することができて本当によかった。 | | 深まった。 |
| 農研機構 動物衛生 研究部門 | <p>家畜の疾病、特にウイルスの研究に興味があり、今回の実習に参加しましたが、それ以外の疫学や生産病といった分野についても広く教えていただけて、様々な分野に新たにに関心をもつことができました。</p> <p>普段はお話を伺う機会のない先生方に直接研究について詳しく教えていただけたことが、とても有意義だった。</p> | <p>悪かった点はなかったと思います。</p> <p>ただ、参加人数が4人で、初日は先生方へ少し質問しにくかったので、人数がもう少し少ないほうがよかったかもしれない。</p> | <p>動物衛生研究部門でどのような業務が行われているか、職員の方がどのような研究をしているのかを、直接伺うことができ、とても有意義な1週間だった。大学ではあまり触れることのない疫学研究について詳しく教えていただけて、病原体の研究とはまた違ったアプローチで実社会に役立っているというのがわかり、特に興味深かった。</p> | <p>今回は公衆衛生といっても動物に近い側のお話がメインでしたが、動物の健康を守ることは人の健康を守ることにとつながるのいうことを改めて実感した。獣医師かわ動物の健康を守る下支えとして研究というものがあると思うので、そういった分野で社会に貢献できたらいいなと強く思います。今後はより一層知識と技術を身につけることが必要だと思うので、大学での講義に加え様々な実習に積極的に参加したい。</p> | <p>もともと研究職に就いてみたいという思いはあったのですが、どういった研究をしているのかを詳しく知る機会というのは今までなかった。</p> <p>今回直接お話を伺うことができ、研究と言ってもその中には様々な分野があり、それぞれやりがいがあるのだなと感じることができました。自分のやりたいことはできるのではないかという思いが強くなった。</p> |
| 日本中央 競馬会 (JRA) | <p>日本で唯一の馬のプロたちの仕事現場を見ることができたこと。少人数だったので、馬の触れる機会が多くあったこと。</p> | <p>もう少し実習生の人数が少なくてもよかった。</p> | <p>2年生の時にやったきり忘れていた馬の解剖から学びなおすことができ、馬の体の仕組みやけがを起こしやすい部位・理由など、解剖学的に理解ができた。</p> | <p>馬に対するハンドリングや簡単な処置等を教えてもらったので、馬を扱う自信がついた。また、跛行診断の時に跛行があると決めつけて馬を見てしまっていたので、このことから先入観にとらわれないように慎重に診断をすべきだと思った。</p> | <p>馬に多少の興味があったが、実際に触れてみると馬のかわいさ・美しさ・強さをより感じることができ、馬たちをもっと近くで見たいという思いが強まりました。</p> |

| | | | | | |
|-----|--|-------|--|--|---|
| 豊田市 | 職員の方が非常に丁寧に指導してくださったこと。いろいろな業務を実習できたこと。 | 特になし。 | 自治体の施設が多いこともありましたが、市役所、保健所、と畜場、愛護センターと幅広く実習を受けさせていただき、非常に良い参考になりました。就職にもこの経験を生かしていきたい。 | 獣医師は臨床獣医師だけでなく、市民の食や衛生面での安全と安心を守る非常に重要でやりがいのある職業だと思いました。公務員獣医師はどのような仕事をしているのかあまりわからなかったこともあり、就職先として考えてはいませんでしたが、この実習を経験して就職先の一つとして考えていこうと思う。 | 公務員獣医師はどのような業務をしているかあまりわかりませんでした。この実習を通して具体的にわかったので、就職先として考えやすくなった。 |
| 千葉県 | 食肉衛生検査所・ふぐ処理・動物愛護センター・保健所・衛生指導課の5つのフィールドと、乳業会社を見学させていただき、各職場での業務の概要・内容を教えていただいたうえで現場をみたので、自分が将来何の目的でこのような仕事をするのか、がとてもイメージしやすかった。また、実際に働く職員さんのお話を伺って、ただ獣医学を勉強するだけでなく、幅広い一般知識も大切であることを学んだ。ふぐ処理については初めて見て、どのように除毒するのかを、プロの方に教えていただき、とてもおもしろかった。 | | 県で働く獣医師の業務内容を、職員の方からお話を伺うことと実際の現場でどのように働いているのかを目で見ることで、深く知ることができた。以前と畜場は見学したことがあったが、病変部としてはじかれた臓器や組織の検査が食肉衛生検査所でどのように行われているかを知り、見学することで現場を体感できた。自分の学んでいる知識がどのように現場で生かされているのかを知ることができた。 | 獣医学科なんだから獣医学はきちんと分かっておいて、ある程度の常識が必要なんだろうと思っていたが、自分の専攻を理解しておくことは基本中の基本であり、一般常識など、専門以外の知識をもつことの重要性和、今学んでいることがいかに現場でそのまま使えるかを学んだ。そのため、獣医学以外に、興味をもったことはまず調べてみて、その関係の人に話を聞く等、積極的になった。勉強していても分からないことも積極的に人に聞いて、自分のもっている知識に付け足していくようになった。 | 省庁訪問で厚労省をみたことをきっかけに省庁に勤めたいと思っていたが、県庁での獣医師の業務・県で働く獣医師の仕事を、実際の職場へ行き、現場をみることでとても深く知れたし、自分が学んでいることがそのまま生かせることを実感した。また、決して楽な仕事ではないが大変やりがいを感じられる仕事であることがお話をうかがえて、県で働く公務員獣医師もとても魅力的であり、最初から省庁と決めつけず、県で働くこともあわせて目標にしたいと思った。 |

| | | | | | |
|--------|--|--|---|--|--|
| 豊田市 | 毎日違う部署で獣医師が関与する領域の仕事を体験できたこと。 どの部署でも資料をもらって説明してもらえたこと。 | 体験している業務が普段行っているものと同じか違うのか、違うのであればどのくらい違うのかなど、初めて見るものばかりだったので教えてもらえたほうが良かった。 | 5日間の期間の中で、毎日違った内容を体験することができてよかった。 | 講義で聞いて関心の持てなかった公衆衛生分野の領域についても興味を持てるようになった。 | 公務員職というあまりやりがいを感じることがないのではないかと考えていたが、非常に重要な仕事も多く実習前と大きくイメージが変わった。 |
| 倉敷市保健所 | 保健所の生活衛生課の1つの係の業務だけでなく、4つの係(動物管理係、食品衛生係、食品監視係、環境業務係)の業務に参加させていただけたこと。 保健所の方々がとても親切で、実習のための資料を準備していただいたり、実際に業務の体験をする前に業務の概要説明をプリントを使ってわかりやすく丁寧にしてくださいましたこと。 獣医師の方はもちろん、獣医師以外の方々のお話もたくさん伺うことができたこと。 飲食店の立入、薬局の立入、食品製造工場の立入、病院調理室の立入などにも同行させていただき、実際にどのような検査がなされているのかよくわかったこと。 | | 実際の立入検査等に同行させていただくなど、たくさんの貴重な体験をさせていただき、実際に体験してみないとわからないことを学ぶことができた。参加して本当によかった。このようなインターンの機会を与えていただけてとてもありがたい。 | 獣医師の活躍の場は幅広いことを改めて知ることができた。これからは広い視野を持って将来について考えていきたい。 | 以前から就職先としての関心は持っていたが、実際の業務を体験することで、保健所での仕事の役割や重要性を知ることができ、将来公衆衛生行政に関係する仕事に就くことへの関心が高まった。また、公衆衛生分野での就職先を考える上でどのような選択肢があり、どういった業務をするのか、それぞれの利点など、働かれている方の生の声を聞くことで知ることができ、より関心が高まった。 |

| | | | | | |
|-------------------------|---|--|---|---|--|
| <p>JRA 競走馬総合研究所</p> | <p>実習のスケジュールが、前半に解剖をしてから、後半に内視鏡検査やレントゲン検査などの臨床検査を行うというものだったのがとても良かった。解剖学的な位置を理解してから検査を勉強することで、どの部位を見るための検査なのかがよくわかり、知識と実践の両方が身についたと思う。また毎朝、放牧及び厩舎作業があったことで馬とふれあう時間が多く、馬に対する愛情が芽生えたことがとても嬉しかった。今まで馬に対して怖いと思うことが多かったので、今回馬の可愛い部分をたくさん見ることができ、もっと馬と触れ合って馬を知っていきたいと感じた。</p> | <p>実習がとても充実していたので、それに対して座学が少し物足りなく感じた。限られた時間なので仕方ないとは思いますが、研究所ならではの最先端の研究の話を少しでも聞ければ、大変有意義であったと思う。総研ではどのような研究をしているのか、どのような成果があるのか、概要だけでも聞くことができれば、研究所としての魅力がより伝わったのではないかと思う。</p> | <p>馬のハンドリングに始まり、解剖や内視鏡検査、レントゲン検査、そして全身麻酔まで幅広く学ぶことができとても有意義な5日間となった。普段の生活では馬とふれあう機会が少ないので、生きた馬を使った実習ができてとても楽しかった。また解剖では2頭の馬を用いたので、左右からの臓器の位置や大きさがわかりとても貴重な勉強ができた。また腱や靭帯もエコーで見たことはあったけれど、実際に解剖して見たのは初めてだったので太さや感触、分岐や付着部が確認できた。これを触診の際に思い出すと、今までなんとなく触っていた腱がどの腱だったかがよく分かり、とても面白く勉強になった。</p> | <p>実習を終えて、今まで以上に競走馬の魅力を感じ、より広く深く勉強していきたいと感じたし、将来の進路として改めて競走馬の獣医師を目指したいと思った。</p> | <p>もともと競走馬の獣医師を目指しているので JRA には大変興味を持っていたが、研究所での実習を終えて研究もとても面白そうだと感じた。トレッドミルを用いた歩様観察を見学して、競走馬がなぜ早く走ることができるのか、という運動生理学にとっても興味を持った。今までは主に競走馬の臨床に興味があったけれど、競走馬の速さの秘密を追求する研究も大変興味深いものであると感じた。</p> |
|-------------------------|---|--|---|---|--|

| | | | | | |
|-------------------------|---|-------------------------------------|--|---|--|
| <p>JRA 競走馬総合研究所</p> | <p>全国の他大からいろいろな学生が集まり、様々な価値観に触れ、そのおかげで自分の勉強不足が再認識できた。また、JRAの職員の方みなさん大変知識が豊富で、私がとても初歩的な質問をしてもかみ砕いて分かりやすく解説していただいた。</p> | <p>実習先から駅まで遠く、毎日タクシー代がかかってしまう点。</p> | <p>普段なかなか解剖できない馬を使って、内部構造を理解しなおすいい機会を与えてもらいました。また、生体を使って正しい馬の扱い方、臨床的手技を教えていただき、今後ほかの実習に行く際にも大変役立つと思います。学校で飼っていた馬は高齢で、基本並足でしか移動しませんでした。が、実際に健康な馬が駆け足で走っている姿を見られたのも貴重な経験だった。</p> | <p>馬に対して漠然とした興味しかなく、研究室で飼っていた馬が倒れた際にもなにもできなかった私ですが、今回の実習で採血や輸液などの手技を教えてもらえたので、次に馬を飼育できた際は少しでも馬の役に立てるようになれたのではないかと思います。また、他大の学生に刺激をもらえ、自分の大学という狭い範囲での順位を気にせず広い目で自分の知識を上にもっていかなければならないと思えた。</p> | <p>JRAなので公衆衛生とは関係なく、公衆衛生行政に関する仕事への興味は変わりませんが、JRAに就職したいという気持ちは大きくなった。</p> |
| <p>JRA</p> | <p>日ごろ、JRAの競走馬総合研究所で勤務している獣医師が行う検査や処置を見せてもらい、さらにその内容を実際に自分自身で行うことでどのようなものなのかを体感することができた点。馬の内視鏡検査やレントゲン撮影、超音波診断、全身麻酔など大学での実施が難しい実習を行えた点。</p> | <p>交通費がかかった点。</p> | <p>毎日十分に馬に触れる時間をとっていただき非常に良かった。実習の内容としては自分が大学で学習または実習で行ったことを超える内容のものがほとんどであったが、指導していただいている獣医師の先生方が一つ一つ丁寧に教えてくれて、今後の大学内での実習を行う上でも内容を先取りすることができ素晴らしい予習となったと思う。</p> | <p>今まではただ何となく決められた講義を受けていたが、臨床行為を行うにあたって様々な分野が関係しあっているということが分かった。今後はそれぞれの分野の関係性を意識しながら学習したい。</p> | <p>私は臨床獣医師になろうと獣医学部に入学した時から考えていたが、小動物をやるのか大動物をやるのかについての詳しいことを決めきれずにいるのが現状である。今回の実習を通して馬の獣医師がどのようなことを行うのかということの一部分をみさせていただいたことで、私の将来の選択肢の中に馬が入ってきたことは確実である。</p> |

| | | | | | |
|--------------|--|---|--|--|--|
| 岡山県 | 畜産課のコースに参加したのですが、一部署だけではなくさまざまな部署を案内して頂けたところがよかった。良い面だけではなく欠点と思われるだろうところもお話して頂けたので、より信用をもって実習に参加できた。 | ありません。 | 実習先の職員の方が、仕事について丁寧に説明してくださったり、またお忙しい中でも実際の業務に似た実習を用意してくださったので非常に楽しく、より具体的に公務員獣医師の仕事について理解することができた。 | いま勉強していることに対する取り組み方が、農家さんの生活に関わってくるのだなと気づかされ、自分が目指す仕事の責任の重さを思い知った。 | 今まで公務員獣医師の仕事についてあまりイメージがわからなかったのですが、今回の実習でより明確に知ることができましたし、「こんな仕事もあるんだ」と職幅の広さにも驚き、より関心が増した。 |
| 船橋市 | 申し込みが簡単であった。 | いまいちVPcampの運営と自治体側の連携が取れていない(結局実習初日までに誓約書が送られてこなかった)。 | 食品の取去やその検査、立入検査、突発の食中毒の対応までどれも貴重な経験をすることができた。 | 小動物だけではなく、それ以外にも社会に貢献する方法があるのだということを学んだ。 | どのような業務をしているのか一部ではあるがイメージが沸き興味が持てた。 |
| 日本中央競馬会(JRA) | 1日あつたりの実習時間、人数、実習内容。ただ単に獣医師としての知識だけではなく、体験乗馬など馬と深くかかわる機会を与えていただけの点。質問に対して即座に返答していただけた点。 | 思い浮かびません。 | ハンドリングから採血、レントゲンなどまで、馬の臨床獣医師の行う大まかな内容を学ぶことができたため、とても充実した実習であったと感じています。また、分野に別れた多数の先生方が、自身の得意分野を順次ご教授してくださったため、講義の内容も、すべてが密な内容で、さらにわかりやすかったです。大学ではあまりやらない馬の実習をできたのでとてもうれしかったです。 | 馬に対して関心があり、就職先として馬の獣医師を考えるようになりました。 | 実習以前は馬について興味を持つ機会が少なかったからか、将来を考えると、馬の獣医師に対する関心はあまりありませんでした。今回のVPcampを通じて、馬と長時間、密接な時間を過ごし、馬に親しみが湧き、馬に対する興味が高まりました。また、馬のプロフェッショナルとして生きる現場の獣医師さんたちは、馬に対する高度な知識と、技術を持ち、魅力的だと感じました。 |

| | | | | | |
|----------------------|--|---|---|---|--|
| JRA競走馬総合研究所 臨床コース | 対応してくれる先生の人数が多く、準備もしっかりされており充実したプログラムだった。懇親会もあり、先生方と話すいい機会だった。 | 特になし | レントゲン撮影、エコー診断、採血など自分の手を動かす実習が多くて本当に楽しく、理解が深まった。解剖も今まで受けた解剖の講義・実習の中で一番分かりやすく面白かった。体験乗馬の企画もあり楽しかった。 | もっと馬のことを学びたいと思うと共に、将来、馬の世界で活躍したいと思った。 | 先生方の技術や対応を見て、私もこんなふうには馬の分野で活躍できる人になりたいと思った。 |
| 競走馬総合研究所 | 5日間たくさん馬に触れることができ、馬についてより知識を深めることができた。また先生方が大変親切に質問に答えてくださった。 | | 競走馬総合研究所にて、朝は厩舎作業から始まり、馬の解剖、内視鏡、エコー、歩様検査などを行った。また乗馬体験を行った。 | | JRAは少しハードルが高い組織なのかと自分の中で思っている部分があったが、実際に行ってみるとそういう環境ではないとわかり、就職先として、馬と共に生活できる点で大変魅力を感じた。 |
| JRA競走馬総合研究所 | 丁寧に教えてくださったところ。 | 駅からの交通手段が不便だったこと | 普段学校ではできないような馬のレントゲン撮影、エコー検査、全身麻酔がみれてとてもよかった。 | 実際に普段触れない馬にふれ、臨床実習を通して、馬についての知識の少なさが露呈したので、さらに勉強していきたいという意欲が高まった。 | ますます馬について勉強していきたいなと思いました。 |
| 兵庫県 | 同じ場所をじっくり見学できる。 | 種類が少ない。 | | 大学の勉強が社会で役に立つことを実感し意識が高まった | 思ったより大変そうなおもしろかった |
| 独立行政法人農林水産消費安全技術センター | 獣医師の職場としては珍しい機関で実習ができたことは貴重だったと感じた。 | 2日間と期間が短かったので実習も自分の手でできることは限られていて、もっといろいろな業務を経験したいと感じた。 | 飼料の検査は普通の講義などでは行わないのでどういうものか想像しにくかったが、職員の方々が丁寧に教えてくださったのでよく理解できました。獣医師以外の方々のほうが多く働く職場は獣医師が多い所とは職場の雰囲気や仕事場の様子が違うので、貴重な経験をした。 | 獣医師が公衆衛生について深く関わることを認識し、社会の中で働いていくことについて明確に意識できるようになった。 | 実際の業務を体験して自分がこの職場で働くイメージができ、就職についての意欲が増した。 |

| | | | | | |
|-----|--|---|---|--|---|
| 愛知県 | 少人数での実習であったため、全員がしっかりと実習に取り組めたと感じた。 | 交通手段が車のみであったため、参加したいと考えていた方も参加しにくかったのではないかと思う。 | 今まで、話でしか知らなかった動物愛護行政について、実際に見て聞いて体験することができた。特に、殺処分については、話ではなく、目の当たりにすると様々な思いがこみ上げてきましたが、これから獣医師として社会に出る前に知れてよかったと感じている。 | 動物愛護行政に現状についてより、興味が湧きました。今まで、小動物よりも大動物に対する興味が強く、動物愛護にもあまり関心がなかったのですが、今回の実習を通して、以前よりも関心が持てた。 | もともと、公務員には興味があったのですが、都道府県を考える上で、どの点を重視して決めるのか悩んだ時に、動物愛護についても考えてみようと思った。 |
| 長野県 | 実習を受け入れていただいた機関の方、みなさん良い方で親切に色々なことを教えていただいた。また、それぞれの機関で工夫して実習内容を組んでいるというのが分かり、公務員獣医師の仕事内容は本当に理解しやすかった。 | お盆期間と重なったということもあり仕方ないが、ホテルの部屋が取りづらかった。 | 愛護センター、食肉衛生検査所、保健所の仕事など、普段学校に通うだけでは知り得ないことをたくさん勉強でき、大変貴重な経験となった。幅広い実習内容が公務員の獣医師の役割を理解するのに大変良かった。 | 今までは全く知らなかった公務員の役割を理解出来るようになり、公衆衛生学や感染症などまだ知識が浅いので、今後しっかりと勉強しようとおもった。 | 臨床獣医師になるか、公務員獣医師になるか悩んでいたが、実際に実習してみて、自分は公務員獣医師の方が現場の雰囲気などから向いているのではないかと思うようになってきた。 |
| 長野県 | 仕事内容の体験をさせてくれたことや、仕事のことだけではなく実際に住んでみてわかる長野県の魅力などを教えてくれたことが良かった。 | 説明をしてくれる時間が少し長かったです。あと、参加人数は3人までにした方が良いのではないかと思う。 | 授業ではやったことのない病理の切片作りや、犬のしつけなどの仕事体験をさせてもらったことが印象に残っています。伺った全ての施設で、この実習のためにしっかり準備をしてくれていることがよくわかる内容だった。 | 獣医の仕事は動物を助けることだけではないということを知ったのですが、今回の実習で改めてそのことを実感しました。また、これまでの授業の中で習ったはずのことが覚えられていないという場面が多々あったので将来につながる勉強をしていかなければならないと痛感した。 | 長野県については、普段から行く機会が多く元から良い印象を持っているので関心の変化はありませんでした。食肉衛生検査所のと畜場での業務に耐えられる自信がないので、衛生部の仕事は向いていないと感じた。 |

| | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|
| <p>下関市</p> | <p>これまでは動物愛護センターの実習といっても1日見学させていただいて終わるものばかりでしたが、集中的に4日間密着して業務を体験させていただくことで、これまでイメージしにくかった部分等も具体的に理解することができました。また関東では野犬の捕獲業務は行われていないとのことでしたが、こちらではその業務に実際に2度も随行させていただき貴重な体験をさせていただきました。また海響館での実習は非常にお忙しい夏休みシーズンであるにも関わらず、1つ1つ丁寧にご対応いただき、水族館動物ならびに水族館獣医師への関心がより一層強いものとなりました。</p> | <p>実習内容に関して悪かったと思う点はありません。しかし、自費であったためそこが少し厳しかったです。</p> | <p>日頃の大学の講義だけではなかなか知ることのできない動物愛護センターの業務を体験することで、リアルな現場を肌で感じる事ができました。下関という土地は関東とは様々な点で異なり、関東から離れた地での現状を目にすることができたことは非常に有意義であったように感じます。また3日目に訪問させていただいた海響館では非常に興味深い水族館獣医師の職についてお話を伺うことができ、こちらも大変よい経験となった。</p> | <p>譲渡会参加時に推進員の動物愛護団体の方とお話する機会があり、動物愛護団体側からの要望や意見を聞く事ができました。中には実現不可能であるようなものもありましたが、特に強調されていた寄り添う姿勢を見せてほしいというものが強く心に残り、どのような場面状況においてもこれは忘れずに中核としたいと感じた。それ以外にも、より勉強し社会に求められるような人材になりたいと強く感じた。</p> | <p>就職先の1つとして以前から地方公務員獣医師はありますが、実家が東京という点も踏まえ、下関市自体に就職ということは難しいと考えている。</p> |
|------------|---|---|---|---|---|

| | | | | | |
|--|---|---|---|---|--|
| OIE | Cooperative work, knowledge and experience sharing, career improvements, Meeting top level veterinarians and talking with them. Understanding TADs, controlling such diseases and action plan for future are the main things I learnt from the GF-TADs meeting. Also role of OIE, standard setting and WAHID database were the other main themes. | - | <p>I have understood lot of information about various topics by lectures and also while participating to the GF-TADS meeting.</p> <p>I must thankful to all the veterinarians in OIE, who provided us interesting lectures, guidance and assistance while participating in the GF-TADs meeting.</p> | Yes, I think so. This internship was an eye opener for me in the Public Health field and hope to join and contribute to the same organizations in coming years. | Since I'm researching in the Veterinary Public Health field, I was keen to participate in the OIE internship program. Also, I would really like to work in OIE after graduation. Hope to find a new horizon in this field in coming years. |
| OIE Regional Representation for Asia and the Pacific | As students, we have no chance to attend such high level meeting. I truly appreciate this opportunity. | | 'One health' required us pay more attention on animal health (both terrestrial animals and aquatic), and it need the cooperation by all the countries. | After this internship, I searched a lot of things mentioned during the meeting, like the epidemiological data of 5 priority diseases in my country, how to enhance the regional coordination, and the basic information of different international participants. And I practiced what we learnt -- WAHID. | There is a strong link between public health and the work of veterinary services in protecting animal health and ensuring food safe. I think public health is a very important career through attending this meeting. |

| | | | | | |
|---------------------|--|--------------|---|--|--|
| <p>OIE RRAP</p> | <p>普通では見ることのできない国際会議に参加することができた点。 さまざまな国籍の人と一緒に実習をできた点。 日本人の参加者向けに、実習中に受ける講義の日本語版の動画がVPcampホームページから見られるようになっていた点。各国の農水省の関係者と話す機会があった点。</p> | <p>特になし。</p> | <p>国際会議の運営に参加し、アジア太平洋地域での公衆衛生上の課題についての知識を深めるとともに、国際会議の役割とその意思決定の手順を実際に知ることができました。 また、すべて英語で行われた実習だったことも非常に勉強になった点です。自分の英語力の不足のために一部理解できない内容もありましたが、将来国際的に活躍するために自分に必要なものを痛感する良い機会だった。</p> | <p>今までの私は大学の授業で与えられた範囲でしか獣医学の知識を持っておらず、公衆衛生に関してもその知識を通して考えるだけでした。しかし、今回の実習では、OIEの獣医学教育の向上に関する取り組みについて学び、各国の抱える異なる問題やアジア地域特有の問題について知りました。その結果、自分が公衆衛生分野で活躍するためにはどのような知識が必要かを客観的に判断し、大学の授業以外にも知識を得たいという気持ちがわいてきました。たとえば、アジア太平洋地域特有の問題として、水産物の消費量が世界の90%を占めているにもかかわらず、水棲動物の公衆衛生が整っていないというものがあります。私はこれを知って、陸上生物に偏っている日本の獣医学教育だけではこれに対処はできる知識はつかないと感じ、自らこの分野についても学びたいと思うようになった。</p> | |
|---------------------|--|--------------|---|--|--|

(B) 自由感想記入欄

(H28 年度 春)

| 参加機関 | 参加学生からの声 |
|--------------------------|---|
| 愛媛県 | 獣医学生として知っておくべきであろうことを、私はこの実習で初めて体験した。ここで経験したことは一生の糧になると思う。 |
| 兵庫県 | 参加して本当に良かった。授業の知識ではわからないところが多いのでそこを実習で良くおしえていただいた。 |
| 長崎県 | 実際に現場で手を動かせる実習は他では少ない貴重な経験だと思う。 |
| OIE 獣疫事務局 アジア太平洋地域事務局 | こうした機会が官庁から公式で頂くことができ、バックアップも頂くことができるのは、学生にとって大変ありがたい事だと思う。 |

(H28 年度 夏)

| 参加機関 | 参加学生からの声 |
|---------------|---|
| 動物検疫所 | また機械があれば参加してみたい。 |
| 国立感染症研究所 | 初めて参加しましたが、とても楽しくできました。色んな大学の人も知り合えて視野が広がった。 |
| 農林水産省動物検疫所 | 今回初めて VPcamp の実習に参加させていただき、自分が思っていたよりもずっと多くのものを得ることができて、参加して良かった。内容も職員の方々も一緒に実習に参加した同期もとても魅力的で、このまま研修のような流れでここに就職したいと強く感じた。 動物検疫所成田支所の実習に参加しました。3つの部署を回る10日間という充実した内容の中で、日が経つにつれて動物検疫というものの本質をどんどん見せていただいた気がしました。業務内容は予めある程度知っていたつもりでしたが、実際に現場で体験すると大まかには聞けない細かな、しかも本質に関わる大切なことがたくさん聞いて興味深かった。実習前は不安もいっぱいでしたが、親切な職員の方々ともみっちり一緒にいて仲良くなった班員のおかげで、楽しく過ごすことができました。 |
| 動物医薬品検査所 | 動物医薬品検査所のホームページや案内だけでは掴みきれなかった業務内容やビジョンについてを講義や実習を通して、より深く理解することができた。また、所員の方々の温かく和やかな雰囲気を感じると共に、仕事に対する情熱、やりがい、辛さ、誇りなどをお話しやその瞳から知ることができ、進路に迷っていた私にとって大変意義深いものになった。今回、インターシップの機会を与えていただき、また実習前後の細やかなご指導を賜り誠にありがとうございました。 |
| 富山県 | 今後の実習では非常に有意義な時間を過ごすことができました。公務員獣医師の仕事に対する興味が強まっただけでなく、モチベーションが上がったことで今後の学業にもより一層、身が入りそうだ。 |
| 鳥取県 倉吉家畜保健衛生所 | なんとなく行ってみよう、という軽い気持ちで応募してみたのですが、実際に参加してみると予想以上に多くの経験が出来、とても楽しかった。現在5年生ですが、もっと早いうちから実習に参加しておけばよかったと思った。 |
| 農林水産省 動物検疫所 | 国際線など多くの飛行機が行き来する成田空港で家畜防疫官の仕事を経験でき、さらに普段入ることのできないターミナルビルの中や貨物地区などいろいろなところを見ることが出来てとても楽しかった。 |
| 動物検疫所 成田支所 | VP Camp の存在は大きいと思った。なぜなら、個人では見学やインターンがなかなかできなさそうな場所も VP Camp を通せば参加することが可能であるからだ。今回、私は自分の憧れの職種について、知らなかったことや誤解していたことをきちんと正しい知識として得ることができた。それはとても大切なことで、今回参加できて本当に良かったと思った。また、他のインターン生の積極性や職場の空気を知ったことにより自分のモチベーションを高めることができた。 |
| 愛知県 | 貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。 |

| | |
|------------------|--|
| JRA 競走馬総合研究所 | おかげさまで大変満足のいく実習ができました。 |
| 山口県 | 将来の進路を決めている人にも、同じ獣医師という資格で幅広い仕事ができるという事を実際に自分の目で見る事はとても貴重な経験になります。実習を通して多くの人と出会い、視野が広がりました。大学生の今だからこそ実習を通して見学する機会があるので、様々な事に興味を持って参加する事は大切だと実習を通して感じました。丁寧な説明をして下さった職員の皆様には感謝しています。 |
| 日本中央競馬会 競走馬総合研究所 | 全体的に期間に余裕をもって期限を設定されていたので忙しい中でも比較的楽に申込することができました。 |
| JRA 競走馬総合研究所 | VPcamp で実習を探していなかったら、こんな実習があること自体知らなかったと思う。まさか参加できるとしていなかったため、抽選結果で参加できると知ったときはとてもうれしかった。実際に経験しないとわからないことも多いな、と改めて感じましたし、本当に貴重な経験ができたと思う。 |
| 農林水産省 動物医薬品検査所 | 知らなかった行政の獣医師というものを知ることができました。参加して本当に良かった。 |
| JRA 総合研究所 | とても良かった。馬と触れ合う時間が長くて、馬のことについてたくさん知ることができて良かった。参加する前は実習内容についてわからないことだらけで不安だったが、参加してみると職員の方々がかなりわかりやすく教えてくださったので安心して実習を行うことができた。 |
| 新潟県 | 思った通り充実した実習内容だった。しかし、動物愛護や保健所業務についての時間が少なかった。 |
| 福井県 | 参加して本当に良かったです。 |
| J R A 総合研究所 | 馬術部でもない私は普段から競走馬はおろか馬にも接する機会がなく、馬の獣医師が実際にどのようなことを行っているのかあまり実感をつかめなっていました。しかし、本実習に参加することで、競馬会における獣医師の役割の一端を垣間見ることができたことは就職など今後の進路を決める上でとても貴重な体験となったと思います。一週間に亘って、馬の臨床・感染症の知識を、競走馬のプロから教えてもらえる機会は大学では決してないことであるため、今回の経験を活かして、今後の実習に臨みたいと思います。 |
| 埼玉県 | 校外の実習に参加することで学校では学べない現場での実践的な知識を学ぶことが出来ました。 |
| 日本中央競馬会 | 中々個人的に直接団体にコンタクトをとることは敷居が高いので、取りまわめていただける機関があることで参加希望を出す勇気が出ました。実際に馬の取り扱いから採材、検査までの一連の流れを経験することができました。また、学校の教科書でしか聞いたことのない検査を実際に自分で取り組むことで、通常学習がどのように現場で生かされるか知ることにもつながった。 |
| 農研機構 動物衛生研究部門 | 参加させていただき、新たな知識や経験を得ることができました。 |
| 千葉県 | 低学年の頃から VPcamp の存在は知っていましたが、4年～参加できる実習がほとんどだったので今回やっと参加できた、という感じでだった。就職が関わっているのが難しいとは思いますが、もう少し対象学年の幅が広くてもいいのではないかな、と思った。今回参加した実習は本当に充実していて、公務員獣医師がどのように働いているのかを現場での姿を見られたことで、自分の将来像がとてもイメージしやすかった。また、習った知識がそのまま生かせることを実感し、大変やりがいを感じられ、おもしろい仕事だと感じた。1年生の頃から目指していた公務員獣医師として絶対将来働きたいと思った。授業で名前を聞いただけの検査や症状をあを現場でみることができ、とても興味深かったしおもしろかった。実際に働いてる方々が楽しんで、好きで働いていることもとても伝わってきました。習った知識がそのまま生かせることを実感し、大変やりがいを感じられ、おもしろい仕事だと感じました。1年生の頃から目指していた公務員獣医師として絶対将来働きたいと思う。 |
| JRA | 普段経験することができないことを経験でき大変勉強になった。実習内容も満載で絶対に自分のためになったと思う。実習中に他大学の獣医学生との交流を持つこともできて非常に楽しかった。 |

| | |
|------------------|---|
| 日本中央競馬会 (JRA) | 交通費、宿泊費について、少しだけでも補助金が出ると助かる。気が引けて応募がはばかられる場合や、実習に行くか行かないか迷っている場合に、VPcamp は実習先を提供、確保してくれるため、応募がしやすい。実習内容はとても充実していました。 |
| JRA 競走馬総合研究所 | 大学の授業では出来ない、実践的な実習が多く、本当に楽しくて充実したプログラムでした。全国の同じ分野に興味のある獣医学生と知り合いになれたことも今後の大きな糧になると思います。 |
| 競走馬総合研究所 | 今回の実習に参加させていただいて、自分の将来の進路の方向がだいぶ変わってきたように感じる。本当に魅力的な実習でした。もし時間があるのなら何度でも参加したい実習でした。 |
| 長野県 | どこの実習先も快く受け入れていただき、実習後は近くを観光するなど、とても充実した5日間だった。日本全国に実習先があるのもとても魅力的で、何度でも参加したいと思える内容であった。 |
| OIE | It's a really good thing to have a chance to practice what we have learnt from school. |
| OIE RRAP | この実習は自分が将来獣医師としてどう働いていくかを考えるうえで非常に良い経験でした。 |

参考資料 4

実習機関アンケート（記述式）回答一覧

- (A) 実習担当窓口の意見
- (B) 実習受入機関の意見

(A) 実習担当窓口の意見

実習システムについて

| 機関 | 良かった点 | 悪かった点 |
|----|---|--|
| 市 | 非常にいいシステム。各自治体等が個別にインターンを募集・受付するのではなく、共通の実習システムとして稼働することに大いに意義があると思います。事務局の存在は信頼性の担保になり、人事部局等への説明にも有効だった。 | |
| 県 | 実習期間を決めることにより、受入機関の負担を少なくできた。 | |
| 市 | 就業希望を踏まえての学生と実習機関のマッチングを行っていただけの点が良い。 また、コーディネーターの方が、スケジュール管理などを丁寧にフォローして下さり助かった。困ったときには丁寧に相談に乗っていただけだったので、初めての受け入れだったが実習を終えることができた。 | |
| 県 | 全国の実習実施団体が個別に大学と調整（実習内容及び事務手続等）を行う必要がなくなった。 全国の獣医学生が希望する実習実施団体を選択することが可能となった。 | |
| 県 | 学生の募集、選定、事前講義資料の準備、保険加入確認など受け入れまでの対応を事務局がしていただける点。 | 学生への周知が十分でない。(大学訪問、問い合わせ等でV P c a m pの存在を知らない学生が居た) |
| 国 | 事務局にて学生の受付、選考を適正に行っていただいたことで、受け入れ機関としては、実習プログラムに集中して取り組むことができた。 | 学生から見ると、事務局で選考された後に、更に当所で実習を受け入れるための手続きを行ったため、本実習の窓口が2箇所になり手続きが煩雑になったのではないかとと思われる。このため、実習開始までの学生との連絡は、受け入れ機関と連携して事務局が窓口になって対応していただきたい。 |
| 県 | 行政獣医師の実像を、本課・出先機関で体験することにより、将来に向けての学生に対するヒントと成り得たと思われる点。 | (見直しの検討を要する点として) 短期間のため、業務の一端に触れるだけで、本実習システムの求められているレベルに達しているか不明な点。 実習対象施設における内部情報保護の観点から、学生の立場でどこまで現場に踏み込んで臨むことができるか懸念される点。 |
| 市 | 取りまとめをしっかりと下さるため、実施機関の負担が軽減された。 | |
| 市 | 全国的な募集ができる点。 | 学生の認知度が低く広報が行き届いていない点。 |
| 市 | 学生の受入窓口をVPcamp事務局に集約して頂いていることにより、効率の良い広報及び募集が可能となった点。 | |
| 県 | 手続きがシンプルで、書類のやりとりも最低限であり、受け入れ側としては事務負担が少ない点。 | |
| 県 | 事前の選考・講義があること。 | |
| 県 | 保険加入の義務づけや緊急連絡先の確保により、安心して受け入れできた点。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 県 | 実習期間を決めることにより、受入機関の負担を少なくできた点。 | |
| 市 | 全国からの幅広い内容の実習を選択できる点。 | |
| 県 | 事前学習の義務付け、学生が参加しやすい環境作り。 | もう少し地方自治体への就職を促すようなシステムにしてほしい。 |
| 市 | 学生の募集を取りまとめてもらえる点、使用する器材の提供を受けられる点。 | |
| 県 | 受入期間を統一することにより、実習機関の負担を抑えられた。 | |
| 県 | 本システムの活用は、幅広くに学生へ周知できる場として有効であった。 | |
| 県 | 全国の獣医学生が応募可能となっている点。学生の募集、個別の大学との打ち合わせ及び覚書の締結等の事務手続きが不要である点。 | 実習期間が短く、評価を行うための情報が少ない中で、的確な評価を実施することが極めて難しい点。 |
| 県 | システム化することで、実習内容の目的や理由、それによる事前準備等を受入機関と学生が共有でき、質の高い実習になる。 | 逆に自由度が少なくなることとなり、食肉検査等のルーチンワークならまだしも、臨機応変な対応が多い動物愛護センター等にとりましては、実習内容を事前にシステム化することは容易ではない。 |
| 県 | 参加学生の情報について、細かい部分まで知る事ができたところ。事前学習を義務付けているところ。 | |
| 市 | 全国の獣医学生に、実習を通して当市を知ってもらえる、PRできることが良い。学生は自分で調べる手間が省ける分、選択肢が広がるのではないかと。また、必要時、事務局から連絡をいただけるので、スケジュール管理しやすい。 | 一概に悪い点とは言えませんが、間に事務局が入ることによって、手続きが少し複雑になった。学生とのやりとりは今までと変わらず、事務局との連絡や提出物のやりとりが増えた。 |
| 県 | 学生への周知、募集、選定、書類(保険等)の受付を事務局が行っていただいたことにより当方は、学生の受入れと実習に専念できた。アンケートがweb上で行える点も、担当機関が個別に実施できて良かった。公衆衛生実習であるが、家保主体コースも組むことができた点。(公衆衛生コースのみであると県の体制が組みづらいため)。 | 当方のスケジュールの組み方の問題であるが、5日間の日程の中で、オリエンテーションと他施設の見学を2日間とったため、主体コースの機関での実習が3日間となった点。 |
| 国 | よくまとまった実習システムである。 | 事前に実習参加者に対して提供する情報をもう少し実習実施側ともすり合わせて事前に提供してあげればより良くなる。当方からももう少し生活に係る情報(昼食事情、ホテル事情等)を事前に提供してあげても良かったのではと感じた。 |

WEB ページに関する実習担当窓口からの意見

| 機関 | 良かった点 | 悪かった点 |
|----|--|-------|
| 県 | 学生が実習先を探す際に「都道府県」または「実習内容」の2つから選択できるようになっている点。 | |
| 市 | 構成・デザイン等が洗練されていて、わかりやすい内容だった。掲載情報についての助言等も頂き、参考になった。 | |
| 県 | 学生に対するページと受入れ機関とに分かれている点。 | |
| 県 | 学生へ一括して情報提供できる点。 | |

| | | |
|---|--|--|
| 市 | 全体的に理解しやすい。 | |
| 県 | 実習実施団体及び学生が同じ情報(実習の趣旨、各種手続内容、様式等)を共有することが可能となった。 広く全国の獣医学生に実習の内容を周知することが可能となった。 | |
| 県 | 見やすく、検索しやすい。 | |
| 国 | 学生向けだけではなく、受け入れ機関向けの情報も充実しており、使いやすいHPだ。 | クリックして反応するまでの動きが少し遅いことが気になる。 |
| 国 | 見やすかった。 | |
| 県 | 実習場所の選択方法として、場所、実習内容等学生に選択の幅を持たせた点。 | |
| 市 | 地図での表示がなされ、実習内容も端的にまとめられている点。 | |
| 市 | 学生、受入機関にとって必要な情報が集約されているため、事務局への問い合わせを最小限とする事ができる。 | |
| 県 | 都道府県の内容を場所から探すことが容易なこと。 | |
| 県 | わかりやすい構成で、研修についての情報を得るには十分な内容。 | アンケート等について、「一時保存」ができないため、職場内での供覧に支障があった。 |
| 県 | 分りやすく、丁寧に作成されている。 | |
| 県 | 学生に一括して説明できるところが有効であった。 | |
| 市 | 簡潔なデザインで見やすい。豊富な資料がアップされている。 | |
| 県 | 学生、受入機関等の声を掲載しているところ。 実習の流れについて、わかりやすいレイアウトであるところ。 | |
| 市 | 見るべきページが分かりやすい点 | |
| 県 | こちらから情報提供すべき事項を網羅していた。 | |
| 県 | インターンシップの受講について、全国の状況を体系付けて広報されており、学生への周知窓口として十分機能している。また、学生目線からも、受講までの流れが明確に示されており、安心して受講できる体制となっている。 | 公衆衛生獣医師を対象としたプログラムであることは十分理解しているが、家畜衛生に関するプログラムを受講できることにも、一部触れていただきたい。 |
| 県 | 必要な情報を常時得ることが可能である。 | |
| 県 | 風景写真により、実習施設や内容が視覚的に理解できるものとなっていること。 実習内容から探せることで、各県の特徴や独自性がよりわかりやすくなっていること。 | |
| 県 | 自治体別および項目別に分類されていて、学生が自分に適した実習を選びやすいところ。 | 二次募集・三次募集の際に、まだ参加学生の申込みがない自治体について分かりやすくしてほしい。 |
| 市 | 全体的に見やすい、検索しやすい内容でした。 動画等を多く用いているのが印象的でした。 | |
| 県 | 整理されていて見やすかった | 実習写真をwebにアップロードできれば良かった。大学によりHP周知に差があったと感じた点。 |
| 国 | 充実したHPだと思います。 | ページの集合写真がうまく開けなかったことが残念。 |

その他の意見

| 機関 | その他意見 |
|----|---|
| 市 | V P c a m p は、公衆衛生獣医師の職場と学生とをつなぐ必須のシステムだと思う。このシステムを利用することで、少ない負担で、広く効果的に情報発信できるため、今後も大いに活用したいと考えている。 |
| 県 | 最初の受講生の情報の中に個人情報がかかり含まれているので、最低限の情報（氏名、大学名、学年、連絡先メールアドレス・電話番号、研修時の住所、応募理由）だけでよいと思う。 個人評価（特に、優れている、やや優れている、ふつうの基準）についての基準が欲しい。 |
| 県 | 各大学から依頼される評価書と重複していることから、事務局から一括して大学へ提出する流れとしていただきたい。 |
| 県 | V P c a m p は、インターンシップの学生募集や手続きなどを事務局が代行していただき、受入れ機関が協力しやすいシステムである。中央畜産会主催の行政体験研修や大学の授業などと連携して、窓口を一本化していただけたら、より全国の関係機関が協力しやすくなると思う。 大学のテスト期間と重なって参加できない学生がいたので、プログラム作成時に大学のテストスケジュールを受入れ機関に提示していただけたら、日程調整が可能になる。 |
| 国 | 各ステージ毎に行うべき事項が簡潔にまとめられており、たいへん使いやすい手引きだと思う。 |
| 県 | 各大学のHP等関係部署のリンクをつけていただきたい。 可能であれば、個人情報に抵触しない程度で各大学の学年別の出身 地内訳を掲載していただきたい。 |
| 市 | 本市の獣医学部生インターンシップは、例年9月ごろ実施している。例年参加された学生から、「今後の就労先を考えるうえで、とても参考になった」「公衆衛生獣医師として就労したいと思う」などの感想を多数もらう。特に本市では、獣医師職場はもちろん、食品・環境衛生の分野で幅広い業務に携わることができ、また、実習でも様々な業務を把握、体験できることから、今後の就労先を検討する上で参考にさせていただけるものと考えている。 |
| 県 | 強いていえば、大学から実習の履修証明の依頼が直接あった。事務局に問い合わせるとVPcampの修了証で代替できるとのこと。窓口の1本化と書類等の取扱いについてのわかりやすい説明が必要。 |
| 県 | アンケートをいったん保存できるシステムとしていただけるとありがたい。 |
| 県 | 受入までの概要を把握することが出来たが、実際を受入に当たっては、都度、電子メールにより流れを指示していただいたことが有効であった。 |
| 県 | 本県で初めての実施であり、なかなか満足のいく対応ができたとは言えないが、それでも学生さんが真剣に取り組んでくださり、やり甲斐があった。 人と動物の関係について、学生さんに改めて考えてもらう実習となるよう努めたが、そのことが結果として、私たちにとっても、自らの業務を見つめ直し、意識を向上する機会を学生さんから得たと思っている。 |
| 県 | 事業フロー図の詳細は見づらく、ほとんど参考にしていない。 |
| 国 | 充実した内容。Webサイトのセキュリティ証明書には問題があり、バージョンを上げないと送信できなかった。 |